

飯田市公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	子育てサークルリーダー交流会	市費	継続	1	20	20	30	3月4日	鼎公民館
目的	自主子育てサークルのリーダーが一同に会し、交流や情報交換することで、各サークル活動を活性化し市全体の子育て環境の改善をはかる	実施内容	「楽しい子育てサークル活動！」をテーマに開催。アイスブレイクのゲームやPRタイムで話しやすい雰囲気をつくった後、グループに分かれてワークショップを行なった。多くのサークルが後継者不足に悩んでおり、互いにメンバー集めについて等情報交換を行なった。			評価	【総括と今後の方向付け】参加者には他のサークルの人との交流を通じて、活発なおしゃべりの中から多くのことを吸収していただけたと感じる。自主活動を行なう子育てサークルは減少傾向にある。しかしながら、自主的に活動するからこそ得られるもの、子どもに伝えられることがあるとして、今後も支援が必要だと考える		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	妊婦さん向け講座「ベビーグッズを作ろう」	市費	継続	9	64	7	920	実施内容参照	りんご庁舎
目的	出産や育児に対する不安等を解消し、飯田で安心して出産・育児に向かっていけるような妊娠期を過ごしてもら	実施内容	3回連続講座を夏2回・秋1回開催。いずれも1・2回目は、ベビーグッズを製作し、3回目は助産師を講師に、出産の不安や悩みを相談したり、出産後の子育てなどについて話し合う会とした。 〈開催概要〉 【夏1】①6/23「スタイ作り」講師：本村綾子さん ②6/30「モバイル作り」講師：木村深幸さん ③7/9「おしゃべりしましょう」講師：助産師 松原千尋さん 子育て応援アドバイザー 松村由美子さん 【夏2】①6/27「モバイル作り」講師：木村深幸さん ②7/10「スタイ作り」講師：本村綾子さん ③7/16「おしゃべりしましょう」講師：助産師 松原千尋さん 子育て応援アドバイザー 松村由美子さん 【秋】①11/19「モバイル作り」講師：木村深幸さん ②12/1「スタイ作り」講師：本村綾子さん ③12/8「おしゃべりしましょう」講師：助産師 松原千尋さん 子育て応援アドバイザー 松村由美子さん			評価	【総括と今後の方向付け】今年度は夏の申し込みが多かった為、夏のみ2クール行なった。受講者を対象としたアンケートでは、「雰囲気があたたかくて良い時間が持てました」「経産婦さんの体験や子育てのことについて聞けたので勉強になりました」といった声が寄せられた。妊婦さんが抱える出産・育児への漠然とした不安を少しでも解消し、安心して出産・育児に向かえるよう、今後も継続して支援したい。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	トライアングル フリーマーケット	市費	継続	1	350	350	12,163	5月20日	飯田市運動公園
目的	主に子育てに関わるアイテム(衣料、靴、おもちゃなど)のリユース、リサイクルをはかる	実施内容	子育てネットワークトライアングルが毎年春・秋の2回行うフリーマーケット。子育て世代のリサイクル・リユースを推進するとともに、交流の場となることを目的としている。公民館では、出店申し込みの受け付け、当日の会場準備等をサポートしている。今年度は雨天の為秋は中止された。			評価	【総括と今後の方向付け】出店は、春・秋ともに定数40店舗を上回る申し込みがあったが、秋は雨天の為中止となった。春は出店数45組、来場者約300人。出店者の多くは子育て中の母親で、使わなくなった子どもの衣類やおもちゃ等のリサイクルやリユースを促す一助となっている。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	トライアングル子育て講座「子育てエッセンス」	市費	継続	3	46	20	6,344	10月14日、30日、11月15日	鼎公民館
目的	未就学児を持つ親子を対象に、日々の子育ての中で、親子が生き生きと自分らしくいられるために大切なことを学ぶ機会とする	実施内容	「“おかあさんということ”」をテーマに、日々頑張っている乳幼児を持つ親に向けて3回連続講座を開催。育てることの意味に気付き、自分が母であることの喜びを感じて貰いながら、子育てをもっと楽しく、やりがいに感じてもらう機会とする。 〈開催概要〉 ①10/14「あちこちしながら親子で育つ」講師：女子短 仲田千夏 技査 ②10/30「私と子どもとみんなのカンケイ」講師：まなびと代表 井坪まゆ美氏 ③11/15「おたんじょうおめでとう～いのちを繋ぐ・想いを繋ぐ～」講師：葉祥明氏・橋本昌彦氏 ※いいだ子育てカレッジとのコラボ企画			評価	【総括と今後の方向付け】様々な分野で活躍している方を講師に招き、それぞれ異なる角度から子育てを見つめる機会となった。受講者からは、「育児に奮闘しているお母さん同士で話せて嬉しかった」「自分を振り返る時間を頂いた。」「自分が今どうなりたいたのか、何を求めているか改めて感じる事が出来た。子どもや主人に感謝の気持ちが増えた」といった感想が寄せられた。		

飯田市公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	子育て情報誌「おひさま」の編集・発行		市費	継続	5回発行	25	1回1500部発行	7,500	5月、7月、9月12月、3月	
	目的	子育てに関する情報を発信する	実施内容 “子育て中だからこそできること”をキーワードに、子育てネットワークトライアングルのメンバーがおよそ2ヶ月に1回手書きで編集・発行している。今年度は86号～90号を発行する。各1500部印刷し、市内の公共施設や病院、つどいの広場などへ設置している。86号特集「トライアングルってどんなことしてるの？子育てサークルを作ろう！」、87号特集「親子ですごく気持ちいい夏！！」、88号特集「おすすめの1冊」、89号特集「子どもと楽しむウィンターイベント」、90号特集「名前つけ スゴ技テクニク」			評価	【総括と今後の方向付け】 平成9年の創刊から休むことなく発行している。毎号メンバーがしっかり取材をした情報を載せており、子育て中の方々が楽しみにしている。今後も引き続き支援したい。			
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	いいだ子育てカレッジ		市費	新規	4	178	45	12,163	11月2日、15日、30日、12月13日	飯田女子短期大学他
	目的	0～12歳の子どもとその親を対象に、『親育ち・子育て』を目的に、それを学びと捉え、講座をきっかけにして、地域と人を繋げていくことを目指す	実施内容 飯田女子短期大学と初めてタイアップして立ち上げた子育て講座。“大学としての専門的知見”と子育てネットワークトライアングルをはじめとする“親の実際の声”を中和させ、幅広いニーズに対応することが出来るような体験型講座にした。 〈開催概要〉 ①10/11お父さんと作る！簡単ランチ！ 中止 ②11/2「パパと過ごす休日」講師：冒険遊び場づくり協会プレーリーダー半田裕氏 ③11/15「おたんじょうおめでとう～いのちを繋ぐ・想いを繋ぐ～」講師：葉祥明氏・橋本昌彦氏 ④「親子で一緒に絵本を作ろう～しもんスタンプでお話し作り～」講師：酒井真由子氏 ⑤12/13「親もっこり子どももっこりのコミュニケーション」講師：TERUコミュニケーションステージ代表 渡辺照子氏			評価	【総括と今後の方向付け】 飯田女子短期大学との連携がスタートしたことに意味があった。例えば、短大の先生自身が学生を地域に出すきっかけとして、この連携を利用した授業の組み立てを次年度考えてくれることにつながった。 プログラムの作成・ニーズの把握が今後の課題。市公と短大が協働で行なう子育て講座の意味を考えれば、講座の講師として短大の先生にもっと登場して頂き、より多くの先生や学生に関わって欲しい。受講者からはおおむね満足の声を得られた。			
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	わいわいサロン		市費	継続	40	280	7	2,076	通年 毎週木曜日午前	飯田市公民館
	目的	日本語を母語としない人が、日本語を学び、地域の人と交流する	実施内容 飯田下伊那地域に暮らす外国人が日本語を学び、地域の人々と交流する場として開催。いつでも誰でも気軽に参加でき、日本語の学習を柱としている。参加者は、ボランティアによる日本語支援者、日本人の配偶者や日系人等。			評価	【総括と今後の方向付け】 最近では市全体の外国人住民数が減少傾向にあり、学習者も少なくなってきた。しかし、いつでも誰でも気軽に参加できるとあり、日本に来て間もない未就労者や学齢期を過ぎて高校受験対策をしたい人が相談に訪れることがあった。また、日本語支援に関心のある人の情報交換の場にもなっている。今後もこれらのニーズが考えられることから、継続して開催していきたい。			

飯田市公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	わいわいサロンⅡ(文化庁委託事業)	他会計	継続	27	360	95	2,076	実施内容参照	県公民館 他
学級・講座	目的 日本語を母語としない人が、日本語を学び、地域の人と交流する	実施内容	<p>平成26年度文化庁委託事業「生活者としての外国人」のための日本語教育事業の一環。平成25年度に地域の関係者との協働で行なった同活動をさらに関係機関等を拡充して展開する。県公民館で前期・後期の2期、これまで定期的に日本語教室がなかった外国人集住地区、松尾常盤台・山本二ツ山団地の集会所で各1期ずつ開講し、その地域に住む外国人成人を主な学習者対象とする。内容は生活に必要とされる実践的な日本語とともに、地域の文化やそこで暮らしていくために必要な情報などについて。外国人集住地区での地域課題(自治会、防災等)についても学習テーマとして取り入れる。</p> <p>〈開催概要〉</p> <p>○県前期 8回</p> <p>①6/30自己紹介、自分の国の文化を紹介してみよう②7/7かしこく買い物してますか③7/14学校や保育園の先生と上手に話そう④病院の問診票を理解する⑤病院の先生と話そう⑥保険や年金の仕組みを知ろう⑦飯田の水害の歴史と備え※番外教室郷土料理を作って食べよう</p> <p>○県後期 8回</p> <p>①10/20飯田弁で話してみよう②10/27ゴミの分別、正しく出来ますか③11/3自己紹介きちんとできるようにしよう④11/17救急法を学びましょう⑤12/1薬局で薬を買おう⑥12/8水引細工の挑戦⑦年賀状を書いてみよう※番外授業忘年会</p> <p>○松尾常盤台 6回</p> <p>①8/23自己紹介、自分の国の文化を紹介してみよう②かしこく買い物してますか③職場などで丁寧な日本語を使ってみよう④病院での会話⑤保険や年金の仕組みを知ろう⑥災害が起きたらどうしますか</p> <p>○山本二ツ山 5回</p> <p>①自己紹介きちんと出来るようになる②仕事や学校での会話③飯田弁で話してみよう④近所の人と話してみよう⑤地域のいいところ知っていますか?</p>				評価	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>昨年度に引き続き、“地域との協働”を目標に掲げた。学習内容は、日本語支援者で構成される企画会議で検討し、必要に応じて教材作成も行なった。外国人の地域参画を見据え、学習テーマには、生活に必要とされる実践的な日本語はもちろん、地域の文化やそこで暮らしていくために必要な情報などを取り入れた。また新しい試みとして、外国人集住地区(松尾常盤台・山本)にて日本語教室を開講し、その地区ならではの課題についても扱った。当該地区を抱える地区公民館の全面的な協力を得て開催できたことは、地域課題を解決する糸口をみつけるためにも良かったのではないかと。従来の日本語支援者の他に、当該地区在住の日本人支援者参加も数名あった。</p> <p>こうした講座を、地域の様々な機関と連携して行なったことで、各機関から外国籍の方への要望も聞こえた。例えば、消防署では救急車を呼ぶ際、最低限の自分の情報すら伝えられない方がおり、非常に困っているなど。各機関のニーズも取り入れつつ、お互いにとって役立つ内容に出来れば尚良い。</p>	
	子育てとにほんご(文化庁委託事業)	他会計	継続	7	75	22	2,076	6月～11月	県・伊賀良公民館他
学級・講座	目的 子育てをしている外国人の親が子育てに関する知識と日本語を学び、地域の人と交流する	実施内容	<p>平成26年度文化庁委託事業「生活者としての外国人」のための日本語教育事業の一環。平成25年度に引き続き、子育てをしている外国人を対象に、子育てに関する必要な知識や日本語を学ぶ講座を実施する。企画委員として昨年度の受講者を中心に子育て中の当事者に関わっていただき、内容や教材等を検討。また、地域の子育て関係団体や市の事業等とも連携を図り、地域で開かれている学級や講座へ外国人が参加していけるよう体制整備を行う。</p> <p>〈開催概要〉</p> <p>①6/14親子でやってみよう！手遊びやわらべ歌♪②6/21保育園の先生と話していますか？③7/5言葉の発達にタイセツなこと④8/23お弁当を作ったべよう⑤9/6おやつを作ったべよう⑥11/8リズム～音に合わせて体をうごかそう～⑦11/22病院の先生と話そう！</p>				評価	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>昨年学習者の関心が高かった内容をもとに、保育士、小児科医、乳幼児学級の講師など、さまざまな関係機関の方に教室に関わっていただいた。実施後、学習者に聞き取り調査をしたところ、体験したことのない内容の講座に参加出来たことや、普段なかなか話すことのできない専門家と関わることができたことへの、満足の声がかかれた。また、学習者を含む外国人・日本人の母親で構成する企画委員会では、子育てに関する不安や疑問をざっばらんに出し合い、一緒に講座を行なうことで、母親たちが悩みを共有したり、一人で子育てしているわけではないことを感じて貰えた。学習者同士が会えることを大変楽しみにされており、開講中に遠い他市へと転居した外国人学習者が、引っ越し後も参加することもあった。しかし、講座実施後、外国人学習者の地域の子育て講座などへの参加は実際にはみられず、本講座参加のみという単発的な学習に留まっている。今後は、今回関わってくださった様々な機関や保育園・幼稚園、つどいの広場などとの連携をさらに強め、より地域参画に効果的な講座に発展させたい。</p>	

飯田市公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	第38回飯田市民大学講座	市費	継続	8	586	109	103,400	9月～10月	飯田市公民館他
学級・講座	<p>市民を対象に、郷土の歴史や自然・風土を始め幅広く学習することで教養を身につけるとともに、ふるさと飯田のすばらしさの再認識を図る</p>		<p>昭和52年に開講して以来38年目を迎えた。昭和60年度から「伊那谷の自然と文化」シリーズが始まり、本年度で30年目の節目を経過した。今年度も、伊那谷をエリアに自然・文化・歴史・人物など幅広く取り上げ8講座を開講した。講座の企画・運営は12名で構成する運営委員が担っている。</p> <p>＜開催概要＞ テーマ：伊那谷の自然と文化Vol30 ～郷土の先人に学ぶ～</p> <p>① 9/2「南信州の煙火 一火の芸術に魅せられた男たち」【現地研修】 飯田市美術博物館 学芸係長 櫻井弘人氏</p> <p>② 9/10「大逆事件と今村力三郎 一飯田が生んだ反骨の弁護士」 専修大学大学院法務研究科 教授 矢澤昇治氏</p> <p>③ 9/18「時空を超えてきた人形劇のまちいいたのこれからを考える」 NPO法人いいた人形劇センター 理事長 高松和子氏</p> <p>④ 9/24「名水とミネラルウォーター 一地下水は地域の貴重な水資源」 飯田市美術博物館 客員研究員 浅野清志氏</p> <p>⑤ 10/1「躍進する航空宇宙産業 一飯伊産業の現状と未来展望」 【現地研修】多摩川精機株式会社 副会長 萩本範文氏</p> <p>⑥ 10/10「恒川遺跡群 古代伊那郡衙」【現地研修】 飯田市上郷考古博物館 学芸員 吉川金利氏 飯田市生涯学習・スポーツ課 文化財活用係長 下平博行氏</p> <p>⑦ 10/14「伊那谷の草木に学ぶ 一秋の植物」 伊那谷自然友の会 前会長 堤久氏</p> <p>⑧ 10/23「大正デモクラシーを生きた信州の教育者たち 一内村鑑三「信州人の天職」、川井訓導事件にふれて」 橋南公民館 文化委員長 今村光利氏</p>		<p>数量的成果 受講者アンケートで講座内容が「大変良かった」とする割合 74.3% (項目名と数値)</p> <p>参加者数は昨年度8講座487人に比べ100名ほど増加した。登録者数も昨年度91人に対し18人増の109人であった。近年、受講生の減少、受講生の高齢化が顕著であり、次世代層の獲得が課題として挙げられていたところだが、多岐にわたる講座内容としたことで受講生の獲得につながった。その結果、皆勤は昨年度21人に対し30人と過去最多の皆勤者を輩出し、受講生の意識の高さが窺われた。受講生を対象に行ったアンケートでは、講座内容について「大変良かった」74.3%、「まあまあ良かった」25.7%と100%が良かったという回答であった。受講生の減少や高齢化と言えども、約7割に達するリピーターの存在は大変貴重であり、今後もこのレベルを落とさないよう、そして新たな層への働き掛けを強化していきたい。</p> <p>受講生の有志で組織されている運営委員会は、今年度新たに4名が加わり、講座の企画立案から各講座の運営まで主体的に活動されている。ただ、若年層の運営委員が少ないことも課題である。さらに若年層にとっても魅力ある講座とするよう心掛けていく。</p>				

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	地活レジェンド育成講座	市費	新規	5	56	23		11月～2月	県公民館ほか
学級・講座	<p>定年前後やセミリタイヤを考えている人、若者など新しい生き方を模索している人たちに対して、ステージⅠ・Ⅱ・Ⅲの実践型講座を提供する。地域で意欲的に生きる「地活(ちいき)レジェンド」に会いに行き地域で活躍する楽しさや必要性を学んでいただき、一人ひとりがオリジナルの目的意識を持って様々な人たちと出会うことによりさらなる学びを通して新しい生き方を創造し地域に着地することを旨とする</p>		<p>【ステージⅠ 知る 元気な地域めぐりツアー】</p> <p>○第1回 吉田洋子さんに聞く 11月29日(土) 県公民館 受講者15名 着地研究会のアドバイザーである吉田洋子さんに、地活レジェンドとは何かを横浜から飯田の事例から学びワールドカフェにて意見交換をした。</p> <p>○第2回 太田いく子さんに会いに行く 12月6日(土) ふれあい農園おた 受講者14名 民泊業を営んでいる太田さん宅にお邪魔しお昼を食べた後、何もない里山の魅力、ワーキングホリデーで出会った方々のことや農業への想いをお聞きし意見交換した。</p> <p>○第4回 岡村巧さんと野楽路のみなさんに会いに行く 1月31日(土) 竜丘公民館 受講者12名 地域の課題である遊休農地でそばを育てることを通して知り合った仲間と楽しく働くことが、結果地域活性化となり地域で頼りにされる存在となっている。仲間づくりの極意に迫った。</p> <p>○第3回(1月15日振替) 原亮弘さんに会いに行く2月20日(金) 旧飯田測候所 受講者9名 ※牧内文隆さんが代行して講義 エネルギー問題から見えてくる地域の課題や事業を起すまでをお聞きし、参加者が自分の経験を活かして何かにチャレンジするきっかけを掴む機会とした。</p> <p>○第5回 主役はあなたです。2月28日(土) 県公民館 講師：吉田洋子さん 受講者6名 ステージⅡに向けての事前レクチャー。仲間と交流しながら何を学んでいったらいいか考えた。</p>		<p>【ステージⅠで知ったことは・・・】</p> <p>はじめの一歩で自己紹介カードに記入した自身の関心のある事、やってみたい事が、ステージⅠ(元気な地域めぐりツアー)で出逢った方、また仲間との交流で、受講者自身が何を自覚するのか。自分のやりたいことが地域に対してどう関わることになるのか。地域に対する自分の役割は何なのか。ステージⅠ地活レジェンドに会いに行く～元気な地域めぐりツアーを終えた時点で、自分や地域を再発見し、「さあ、これから自分には何ができるのか、自分は何がしたいのか」の展望がみえてきたのではないだろうか。すでに何かしらの事を興している人、これから学んで興そうとしている人という。そんな受講者と地域をつないで地域のために行動を興すことの可能性を探っていきたい。</p>				

飯田市公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	高校生講座「カンボジアスタディツアー」	市費	継続	8	120	15	3,210	10月～3月	飯田市公民館他
目的	飯田・下伊那在住の高校生を対象に、ふるさと飯田を知り、海外に学び、将来を考えるという一連の学習活動を通して、地域に誇りと愛着を持ち、グローバルな視点で飯田をとらえ、地域の将来ビジョンを描けるような人材の育成を目指す	実施内容	<p>平成17年から実施している高校生講座は内容に一定のテーマ性を持たせることが難しく、ほとんどが単発の参加にとどまり、当初期待された効果が見られない状況にあった。</p> <p>そこで、平成25年度から海外への派遣研修を高校生講座の柱と位置付け、ふるさと飯田を知り、海外に学び、将来を考えるという一連の学習活動を通して、地域に誇りと愛着を持ち、グローバルな視点で飯田をとらえ、地域の将来ビジョンを描けるような人材の育成を目指し実施した。</p> <p>○10/4・10/5 参加者及び保護者説明会</p> <p>①10/25 地域学習について意見交換、前年度参加者との交流</p> <p>②11/30 地域学習Ⅰ「飯田市長から学ぶ」講師：牧野光朗飯田市長 地域学習 グループ学習内容決定（伝統文化、食文化、歴史、公民館）※各グループがテーマに沿って主体的な学習活動を進める</p> <p>③12/20 カンボジア学習Ⅱ「カンボジアの子供たち、孤児院運営について」講師：メアス 博子氏（スナードアイ・クマエ孤児院 運営責任者）／「カンボジアの様子、クメール語の日常会話」講師：佐々木愛氏（株式会社ピース・イン・ツアー職員）</p> <p>④1/24 カンボジア学習Ⅲ「カンボジアへの支援活動」講師：坂巻洋治氏（NPO法人ふるさと南信州緑の基金会員）／「クメール織物研究所について」DVD鑑賞</p> <p>⑤2/21 カンボジア学習Ⅳ「カンボジアへの支援活動」講師：橋本義哉氏（NPO法人ふるさと南信州緑の基金会員、飯田風越高校同窓会役員）／「堀本崇さんについて」講師：伊澤宏爾教育長</p> <p>⑥3/8 地域学習 グループ活動成果発表 カンボジア学習Ⅴ「クメール織物研究所について」講師：此間春美さん（NPO法人ふるさと南信州緑の基金会員）／「JICA海外支援活動について」講師：茂木優子氏（JICA駒ヶ根）</p> <p>⑦3/14 カンボジア学習Ⅵ「旅行の準備について」</p> <p>○3/21～3/27 カンボジアスタディツアー</p>						
評価	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>事前学習はふるさと飯田を知るための「地域学習」とスタディツアーの事前学習としての「カンボジア学習」に整理して実施した。</p> <p>地域学習は、グループ毎に飯田の魅力と感じるテーマに沿って学習活動を実施し、その成果発表を行い共有を図った。講義形式を設定せず、グループ内で協議し学習内容の進め方等についても自ら検討することで主体的な学習活動に繋げることが出来た。</p> <p>（伝統文化：今田人形、食文化：五平餅・漬物、歴史：りんご並木・三六災害、公民館：公民館活動）</p> <p>カンボジア学習では、スタディツアーで訪れたスナードアイ・クマエ孤児院の運営責任者であるメアス博子さんや日本語教育の経験がある佐々木愛さんからカンボジアの子供たちの現状や生活の実態を学び、カンボジアの子どもたちとの交流の意義を事前に確認することができた。また、今回のスタディツアーに同行したNPO法人ふるさと南信州緑の基金の会員の方から、これまでのカンボジア支援の取り組みをお話しいただき、これまでも飯田下伊那の多くの人が思いを持って支援活動を行ってきたことを知ることができた。</p> <p>海外派遣研修は、参加する高校生にとって体験する全てのことが刺激的で、これまでの価値観を大きく揺り動かす貴重な経験になると思われる。報告会や発表会等を通じて高校生が感じたことや、その後の将来にどう生かしていきたいと感じたのかを広く発信していきたい。また、翌年度以降の高校生講座に反映させる仕組みをつくり、参加者自らが事業の企画運営に参画することで人材サイクルの構築を目指していきたい。</p>								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	第39回公民館コーラスグループ発表会	市費	継続	1	394	19グループ		2月22日	飯田市公民館
目的	各地区のコーラスグループを対象に、日頃の成果発表と交流の機会をつくる	実施内容	<p>各地区公民館で活動しているコーラスグループが一堂に会し、日頃の練習の成果を発表する機会。参加グループで実行委員会を組織し、計画段階から当日の運営まで実行委員会の主体性を大切にしながら実施する。</p> <p>第1回実行委員会で、運営体制、役割、日程等について確認する。</p> <p>第2回実行委員会で、プログラム内容、練習日程等最終的な調整を行う。</p> <p>第3回実行委員会で、反省と総括をし、次年度の方向性を確認する。</p>						
評価	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>実行委員会の主体的な運営も定着している。参加グループが成果を発表しあう機会としてこの会を目標にしているグループも多く、他グループの発表を聞き刺激を受け、さらなる向上を目指す場となっている。今回は過去最多の19グループの参加があった。</p>								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	第33回飯田市女性バレーボール大会	市費	継続	1	250	14チーム		11月16日	上郷体育館他
目的	バレーボールに親しむ女性を対象に、健康保持、体力増進、相互の親睦と底辺拡大を図ることを目的に実施する	実施内容	<p>飯伊ママさんバレーボール連盟に協力いただき、参加チームの主体性を大切にしながら実施する。</p> <p>〔方式〕予選リーグ・決勝トーナメント</p> <p>〔結果〕優勝：鼎、準優勝：龍江、第3位：東野、伊賀良</p>						
評価	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>飯伊ママさんバレーボール連盟のサポートを受けて、試合の審判を含め、会場準備・進行・片づけ等当日運営も各チームで実施。今後も参加者の主体的な大会として継続実施する。</p>								

飯田市公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	第52回飯田市公民館大会	市費	継続	1	603	603	103,400	2月15日	飯田市公民館・りんご庁舎
その他	公民館関係者、市民一般を対象に一年間の活動を総括するとともに、これからの公民館のあり方を考える機会とする。	実施内容	<p>これまでの反省から、分科会を重視することとし、基調講演から分科会へのつながりを意識した組立てを行った。早い段階から主事会幹事会を中心に企画し、主事会・館長会でできっちりと方向性を共有した。</p> <p>テーマ「持続可能な地域をめざし、これからの公民館と地域づくりを考える」 併催：ムトス飯田学習会・第30回ムトス飯田賞表彰式 1 開会行事 教育功労者表彰、第30回ムトス飯田賞表彰ほか 2 基調講演 テーマ：「地元学」による持続可能な地域づくり ～ないものなだりからあるもの探しへ～ 講師：吉本哲郎氏（地元学ネットワーク主宰） 3 分科会 ・第1分科会 「“人”が支える地域づくり」 ・第2分科会 「次世代につなげる地域文化」 ・第3分科会 「子どもを育む地域の力」 ・第4分科会 「環境を学び、守り、生かす」 ・第5分科会 「明日の地域に若者の視点を！」 ・第6分科会 「ムトス30周年記念オアネルディスカッション」</p>						
		評価	<p>【総括と今後の方向付け】 一昨年度、第50回という半世紀を迎えた記念大会を開催したが、昨年度は記録的大雪により史上初の中止を余儀なくされた。一昨年度の第50回からムトス飯田学習会と併催したことで、同じ地域づくりに取組む市民が一堂に会する機会として大変好評であり、参加者も過去最多の600名を超える市民が集った。 第52回を迎えた今年度は、リニア中央新幹線中間駅決定や三遠南信自動車道の全線開通に向け地域が大きく変貌しようとするなか、持続可能な地域をつくるために公民館が果たす役割やこれからの地域づくりに重要となる視点を共有することを目的に開催した。 企画にあたっては、主事会幹事会を中心に組立てを行い、主事会・館長会で目的・意識を常に共有しながらすすめることができた。その結果、各分科会とも活発な議論がなされ、参加者にとってこれからの活動に活かすヒントが得られるものとなった。 今回のテーマ・基調講演・分科会の組立ては、今後の地域づくり・人づくりには欠かすことのできない重要な視点であることから、27年度以降の大会もこの視点を取り入れていきたい。 また、ムトス学習会との併催により参加者数の増加が今後も見込まれることから、全体会場や分科会会場のあり方についても再度検討が必要である。</p>						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	東京大学大学院牧野研究室との共同調査・学習	市費	継続	3	104	-	3,600	通年	東京大学・東野公民館
その他	各地域に密着し最も身近な公民館である分館活動の調査から、地域課題解決に向けた取り組みについて共同調査・学習を行うことで、飯田市の公民館の役割とあり方を検証する。	実施内容	<p>平成22年度は、これからの飯田市の公民館のあり方について共同学習し、東京大学大学院教育学研究科社会教育学・生涯学習論研究室では「開かれた自立性の構築と公民館の役割～飯田市を事例として～」をまとめ、飯田市公民館では「持続可能な地域づくりに向けた公民館の役割について」を整理した。平成23年度は、飯田市の公民館活動の土台である龍江、鼎、上郷地区を中心とした分館や団体の活動状況を調査し、「自治を支えるダイナミズムと公民館～飯田市公民館分館活動を事例として～」がまとめられた。平成24年度は、分館活動のさらなる掘り下げのためのフォローアップを中心にした共同調査・学習を実施した。併せて、分館役員を対象とした分館役員研修会を数年ぶりに開催し、分館調査報告会を開催した。平成25年度は、これらの共同調査・学習を行って行く中で課題として浮き彫りとなった「女性の参画」をキーワードに、東野及び千代地区を調査地として全世帯を対象とした実態調査を実施することとなり、その調査内容等について共同学習を行った。今年度は、昨年度末に東野及び千代地区で取組んだ「地域社会への参加に関するアンケート」結果の取り纏めと、分析、報告会を開催した。 ○アンケート結果集計 5月～9月（東京大学にて実施） ○第1回共同学習 9月30日（火）於：東京大学 15名出席 アンケート単純集計結果報告と今後の分析について合同打合せを実施。 ○アンケート結果の分析 10月～11月（東京大学にて実施） ○第2回共同学習 12月16日（火）於：飯田市公民館 15名出席 アンケート分析結果の報告と意見交換を実施。 ○平成26年度共同調査・学習報告会 12月21日（日）於：東野公民館 報告会出席者74名、交流会出席者58名 アンケート調査結果の報告と意見交換及び交流会を実施。 ○共同調査・研究に基づく報告書の作成・刊行（東京大学）</p>						
		評価	<p>【総括と今後の方向付け】 一昨年度までは最も身近な公民館である分館活動を中心に共同調査・学習を行ってきたところであるが、地域住民が主体となった分館活動は、まさに各地区公民館の土台であり、地域づくり人づくりが意識されずともそれがなされており、その重要性を再認識した。 その後のフォローアップ調査や共同学習において、これまでの調査から見えた課題（＝女性の参画）に焦点を当ててヒアリングを実施したが、やはり女性の視点での運営や活動、またネットワーク等はこれからの公民館に欠かすことのできない視点であり、今後、どう地域でこういった女性を引き出すかが課題として浮かび上がった。 昨年度の共同調査・学習については、東大の知見を生かした地域課題への取り組みについて20地区へ照会したところ、東野及び千代地区からやはり「女性の参画」についての課題が挙げられ、この2地区を調査地として共同調査・学習を行うこととなった。まずはその取り掛かりとして、「地域社会への参加に関するアンケート調査」で住民の意識を把握することとした。 昨年度末にアンケートを配布し回収したところ、東野地区では63.6%、千代地区では80.4%、合計69.3%と非常に高い回収率を得ることができた。 調査対象が山間地とまちなかに分かれたことで、地域活動に対する考え方や参加の状況が比較できることとなり、同じ市内であっても課題などの相違点が浮き彫りとなった。その結果をもとに東野地区と千代地区の新たな交流も提案され、東大の知見もいただきながら、さらに地域ごとの議論を進めていきたい。 東京大学との共同調査・学習は引き続き展開していくことは両者間で確認されているので、今年度実施したアンケート結果から見えた課題の分析や協議を各地域に入って進めることで、今後も双方にとってwin-winの関係での取組みとなるよう継続して実施していきたい。</p>						

飯田市公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	飯田ムトス大学事業(文部科学省委託事業)	市費	新規	69	2,693	—	103,400	通年	飯田市公民館他
その他	<p>地域社会における様々な現代的課題に対し、公民館が積極的に課題解決に向けた取組みを行うことで、社会教育を活性化し、地域のきずな、地域コミュニティの再生及び地域活性化を図り、元気な日本を取り戻す(文部科学省委託事業)</p>	実施内容	<p>文部科学省が25年度より取組む「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」を受託し、住民主体の企画運営で行われる既存事業をネットワークによる新たな展開を通じてブラッシュアップを図るとともに、地区公民館単位で取組む地域課題学習が連携した学習と交流に基づく人材育成事業を実施した。</p> <p>〈事業概要〉 事業名：飯田ムトス大学～地区公民館単位で取組む若者等を取り込んだ地域課題学習が連携した、学習と交流に基づく人材育成プログラム～</p> <p>事業内容 (1)次代を担う若者を中心とした中山間地域における地域課題学習(上村公民館・南信濃公民館合同) ・小学生以上すべての住民を対象に行ったアンケート調査の中間報告会 ・地域の宝を再確認する学習会の開催 ・高等教育機関と連携した住民アンケート調査結果の分析等学習会 ・飯田市公民館大会における取組みの事例発表 (2)地域と小・中・高が連携した、ひさかた和紙の保存伝承活動を通じた地域課題学習(下久堅公民館) ・下久堅小学校「ふるさと学習」における和紙の原料栽培と収穫、紙漉き体験。 ・緑ヶ丘中学校への紙漉き体験会への参加呼びかけ ・飯田OIDE長姫高校と連携した「地域人教育」における商品販売 ・地域住民を対象にした「ひさかた和紙学習会」の開催 (3)地域課題を核とした、子育て世代と地域をつなげるための連続的地域学習(川路公民館) ・川路通学合宿の実施(4泊5日) ・第62回天龍峡夏期大学の開催(4講座) ・第26回川路の明日を考える研究集会の開催 (4)地域課題解決に向けた諸課題の成果発表 ・第52回飯田市公民館大会の開催 (5)飯田ムトス大学ネットワーク会議 ・(1)～(4)の活動をネットワークし、企画運営内容にかかる情報交換・共有を図る ・公民館長会・主事会で事業内容を情報交換しモデル的先導的活動事例を共有</p>	評価	<p>【総括と今後の方向付け】 文部科学省として、地域社会における様々な現代的課題に対し、関係機関等と連携して地域課題解決に向けた取組みを行うことで、地域のきずなや地域コミュニティの再生、地域活性化を図り、元気な日本を取り戻すためには公民館の役割が改めて重要になるとのことから、25年度からソフト事業としての本プログラムが開始された。近年見られなかったソフト事業への100%補助、また、特定財源の確保という意味において受託してきた。 取組みとしては、このメニューを活用した新規事業の立ち上げではなく、各地区で取組んできた地域課題を地域の垣根を越えて連携しネットワークを構築したことで、その地域ごとでは解決できなかった課題も他地域の考え方や運営方法などを共有することで、新たな地域づくりの可能性を見出すことができた。 遠山地区で取組む若者にアプローチした地域課題学習では、これまで2地区が一つのテーブルで議論した経験が無く、合同会議を開催したことで、同世代の交流を始め両地区共通の課題を共有することができ、これからの地域のことを考えるきっかけづくりの場として貴重な機会となった。 下久堅地区におけるひさかた和紙の保存伝承活動では、これまで地域の小学生だけを対象に行ってきた活動を、中学生あるいは高校生まで取り込んで行ったことで、和紙を活用した新商品が生み出されるなど新たな取組みが見られてきた。また、このことにより保存会の活動にも厚みが増し、住民組織の強化に向けた動きも見られてきた。 川路地区においては、地域・学校・家庭が地域の子育てについて意見交換し共有したことで、その実践として飯田市初の通学合宿(4泊5日)に取組んだ。子どもの自主性や自立だけを捉えるのではなく、地域で子どもを育てるための環境整備を第一目標に取組んだ結果、多方面から高い評価を得られた。また、その取組みの発展として天龍峡夏期大学における講座開設や、川路の明日を考える研究集会における研究テーマとして地域が一体となって議論される場が醸成された。これらの活動を合同で組織した連絡会「飯田ムトス大学ネットワーク会議」では、それぞれの取組みの内容や進め方について情報交換・共有が行われ、相互の事業のブラッシュアップの機会として機能することができた。 残念ながら、文部科学省の委託事業は2年を持って終了することとなったが、この取組みを市内全域へのモデル的先導的取組みとして波及させるなど、共通の課題を持つ地域の垣根を越えた取組みは今後も推進していく。</p>				
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	飯田市成人式	市費	継続	1	907	907	1,320	1月11日	飯田市公民館他
その他	<p>成人式を新成人たちの「学習の機会」として捉え、実行委員会の活動を通じて地域に愛着と誇りを持ち、将来における自己のあり方を見つめる機会とする</p>	実施内容	<p>居住地区、出身地区を基本単位に全市一斉に開催する。開催単位ごとに成人式実行委員会を組織し、地域を挙げて新成人を祝福するとともに、新成人自らが成人式の企画運営に関わることで、一生の思い出に残るような成人式となるように取り組む。新成人が実行委員会の活動を通じて地域を知り、地域とのかかわりを持つといった「学習の機会」と位置づけ、各公民館で様々な地域学習の機会をつくり、その内容を成人式記念誌「Wish」に「地域の魅力再発見」として掲載する。 ※合同開催：東中学校区、西中学校区、遠山中学校区</p>	評価	<p>【総括と今後の方向付け】 各地区で新成人が、成人式当日のみでなく事前の企画運営から主体的に関わり、地区開催方式が定着している。少子化に伴い新成人該当者や新成人実行委員が減少傾向にあるが、このことをきっかけに若者が戻ってくる地域づくりについて地域全体で考える動きにつながった地区もあった。また、成人式後も公民館事業等地域活動に関わる事例がみられる。成人式を一つのイベントとして終わらせるのではなく、地域活動に参画する一つのきっかけとなるような取組みをさらに進めていきたい。</p>				

飯田市公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	JICA草の根技術協力事業「レガスピプロジェクト」		継続					通年	竜丘公民館他
その他	<p>JICAから受託した草の根技術協力事業「フィリピン・レガスピ市における『公民館』づくりをモデルとした住民参加型行政の展開」によって進める途上国での住民自治の仕組み作りを支援する取組を通じて、飯田の地域づくりに共通する課題と解決の方策を学ぶ</p>		実施内容	<p>レガスピ市内の住民リーダーを対象にPLSD研修を実施し、参加型地域社会開発の考え方や手法がレガスピ市内の広域に渡って普及することを目指し、地域住民対象の研修を実施すると同時に、地域住民の意識化・組織化及び住民主体の地域計画づくりを行った。また、タイサンに公民館を建設。飯田市において本年度実施した主な事業は以下の通り。</p> <p>○4月28日第2回設立準備会○5月19日JICA中部PLSD飯田研修事前打合せ○6月28日「レガスピ交流と学びの会」設立会 ○7月24日 レガスピ研修生歓迎会 ○7月21～22日 レガスピ市長夫妻来飯 市内PLSD現場視察対応、歓迎レセプションの開催 ○8月25～30日 JICA中部PLSD研修受入れ対応</p> <p>▽25日『飯田市の歴史と地方行政制度』企画課：清水秀敏『飯田市の公民館システム』：木下巨一 『飯田市における地域自治の仕組み』：長谷部三弘 ▽26日『竜丘公民館の組織と活動』：熊谷隆幸 『竜丘公民館の活動：女性の立場から』：宮嶋聡子 『竜丘公民館の活動：大人の学校の取り組み』：塩澤義男 ◇大人の学校との交流会：中平俊次 『竜丘における地域自治と公民館活動』竜丘古墳を考える会：下平隆司 ▽27日鈴岡城址公園新井原集会所、ごみステーション等視察、駄科分館で民謡サークル踊り体験『分館行事や育成グループの活動を学ぶ』駄科区長：北林正直、分館長：伊東正直、分館主事：加藤守孝 ▽28日『集落における共有資源・施設の視察』『集落における自治の仕組みと活動』『上久堅における地域開発計画と活動』『風土舎の活動と地域自治の経験』：長谷部三弘◇昼食：上久堅小学校との交流会 ▽29日『JAみなみ信州の組織と地域活動』JA総務企画部：大蔵政紀/営農部柿課：田中廣彦/市田柿工房：羽生光志 『生産者・農協・行政が連携した取り組み』農業課：林健吾 『中山間地域における集落営農の取り組み』上久堅地区農業振興会議：中山將英 ▽30日『飯田における地域自治からの学び』：大濱裕 『飯田市におけるフィリピン・レガスピの知見の活用』川路公民館：小島一人 総括・交流会（飯田市長を交えて） ○2015年1月31日～2月7日 レガスピ視察訪問実施 レガスピ交流と学びの会代表を団長に分館主事1名、公民館職員3名、農業課職員1名、飯田東RCより2名、信毎記者 以上8名 現地の取組のモニタリングと、今後の取組に対する飯田の知見を提供した。併せて本プログラムに関連した飯田地方のロータリークラブが資金援助した井戸増設事業の贈呈式典へ参加。 ○2月16日 レガスピ訪問 市長への報告 ○3月7日 レガスピ訪問団報告会ならびに懇親会</p>			<p>【総括と今後の方向付け】 本プロジェクトは昨年より3年間実施するJICA事業で、平成15年度から3年間にわたり日本福祉大学が飯田市で公民館活動や地域づくりに取り組む住民有志と一緒に実施してきたが、今年度は住民主体の「レガスピ交流と学びの会」が主体となって各事業を運営することとなった。会員29名にて発足した。会の目的は以下の通り。</p> <p>(1)レガスピの現場で飯田の地域自治の仕組みや経験を伝える。 (2)レガスピで交流し学んだ自治を飯田の地域自治と照らし合わせ改めて見直す。これら交流と学びをもってお互いの地域自治を育む。 (3)JICA事業終了後も、交流と学びで築き上げたレガスピと飯田の住民相互の交友と信頼関係を、地域自治のさらなる発展のため守り生かす。 (4)本事業を通じて得られた取組、経験、知見を、地域自治の新たな「支援・協力モデル」として国の内外に発信する。</p> <p>7月にハードスケジュールで来飯したレガスピ市長夫妻であったがPLSD飯田研修の現場を視察され住民との交流でさらに理解を深めて帰国された。毎年夏に行われる「JICA中部PLSD飯田研修」にはタンザニアほか途上国職員が11名にレガスピより4名の研修生が日本福祉大学大濱准教授の指導の下飯田自治の現場でPLSD「参加型地域社会開発」を学んだ。主に竜丘地区の住民とのふれあいの機会が持てた。</p> <p>○レガスピ訪問団報告 駄科分館新井原集会所をモデルとして、住民組織の活動拠点である「公民館」の建設が順調に進み、2月中旬に完成した。もうすでに現場では、住民主体の組織化、意識化、共同化が始まっている。次年度はいよいよ公民館を拠点とした地域コミュニティ形成のための交流が重要となる。また、飯田市においても公民館の原点に立ち、今後の在り方についてレガスピから学ぶことになるだろう。</p>	評価	

飯田市公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	小学生の生活に関する調査	市費	継続	1	2,378	2,378	2,415	9月8～19日	
その他	市内全小学校の各学年1クラスの児童を対象に基本的な生活習慣の習得状況を把握する								<p>『住み続けたいまち 住んでみたいまち 飯田 人も自然も輝く文化経済自立都市』を標榜する第5次飯田市基本構想・基本計画が平成19年度にスタートした。この基本構想・基本計画において、人づくりに関わる重要な施策として「家庭教育の充実」を掲げており、施策の達成状況を把握するために設定した指標(子どもの基本的な生活習慣の習得状況)の確認及び調査結果を学校教育や社会教育の実践の中で活用する。</p> <p>市内全小学校の1年生から6年生までを対象とし、各校の各学年1学級ずつ調査を実施。(特例として、浜井場小6年生は昨年まで1クラスが今年2クラスとなったために2クラスを1学級とした)</p>
									<p>数量的成果 ・回収率 98.5% (項目名と数値) ・基本的な生活習慣を習得している小学生の割合 56.9%</p> <p>【総括と今後の方向付け】 基本的な生活習慣を習得している小学生の割合は昨年度に比べて0.6%減った。昨年度まで4年連続増加傾向にあった。今まで7月にアンケートを実施していたが今回は夏休み後に実施している。基本的な生活習慣の学年追跡では、昨年度2年生が3年生となり2.6%減、同4年生が5年生となり9.1%減となった他は増加し、特に同5年生が6年生となり3.6%増えた。設問別に見ると、昨年度に比べ朝自分で起きるが増えた他は、朝食を食べる、朝自分で身支度をする、朝ウンチをする、家族にあいさつをするは減となった。その中で朝ウンチをするは70%台となっていて他の90%以上との差を感じる。</p>
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	定例館長会及び幹事会	0円	継続	10	220	22	22	原則毎月1回(第2水曜日)	飯田市公民館他
その他	<p>20地区公民館の館長が、飯田市の公民館事業の企画・運営・調整を図る</p> <p><定例館長会> ①公民館の役割、館長の職責について議論し整理する ②全市合同事業の組立てや情報共有を図る。 ③地区館事業の情報交換を行う</p> <p><幹事会> ①定例館長会の議題を協議、整理し方向付けを行う</p>								<p>・原則として、毎月第2水曜日を定例日として午前幹事会、午後館長会を開催。</p> <p>・飯田市の公民館事業の企画・運営・調整を行うとともに、各地区事業の情報交換、情報共有を行った。</p> <p>・通年で行う館長会の協議テーマとして、「これからの公民館と館長の役割～地域の公民館として子どもを育て学校を支える～」を掲げ、6・9・12・2月に地区公民館からの話題提供を通じた研修、協議を実施した。</p> <p>・また、5月には人魚劇フェスタ実行委員会、10月には市議会社会文教委員会、1月には教育委員との懇談会を開催して、テーマに沿った地区公民館からの話題提供による公民館の現状や館長の職責について理解いただくとともに、意見交換を行った。</p> <p>・8月の研修視察は阪神淡路大震災の現場となった神戸市長田区真陽地区を訪れ、当時の復興の様子とその教訓を生かした現在の取り組みをお聞きするとともに、被災地域の復興の様子を視察する機会を得ることができた。震災復興に学ぶ3年目の取り組みとして有意義な研修となった。</p>
									<p>【総括と今後の方向付け】 連絡調整や意思決定の機会として毎月半日開催を原則としている。今年度も館長会における協議テーマを設定し、公民館の役割や館長の職責について話題提供を通じた研修・協議を行ったが、結果的にそれらを整理するまでには至らなかった。また、月1回の館長会では十分な時間の確保ができず、消化不良で終わってしまう場面も見られた。</p> <p>しかし、短時間でもこのような研修の機会を確保したことで、各地区での公民館の位置づけや館長の役割などを相互に情報交換でき、改めて公的社会教育機関としての公民館について認識を深めることができた。</p> <p>ここ数年來の懸案事項である館長報酬問題については、各地区まちづくり委員会会長と事務局との懇談を個別に行った。しかし、公民館の2面性に対する認識や、館長の職責に対する理解をいただく結果には至らず、引き続き、公民館の役割や館長の職責について継続審議を行っていくこととなった。公民館サイドでの検討だけではなく、庁内を交えた協議を行っていく必要がある。</p>

飯田市公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	幹事会及び主事会	市費	継続	24	386	24	24	毎月1回	飯田市公民館 他
その他	<p>飯田市公民館事業の企画・運営・調整を図る</p> <p><幹事会> ①定例主事会の議事の組立てを行う ②定例主事会で決まらなかった事に関して検討を行う ③ブロック主事会やプロジェクトへの情報提供及び意見集約を行う</p> <p><定例主事会> ①業務に必要な情報の共有を図る ②研修等を通じて主事としての専門性を高める ③各館の情報共有を行う</p>	実施内容	<p>幹事会は、主事会を活性化し、意見を出しやすくするために事前の組み立てを行う場として開催。定例主事会は、午前を事務連絡と全市的な事業の企画・運営・調整等を行い、午後を研修と情報共有の時間として開催。PJ活動は、「人形劇PJ」「地域人教育PJ」「環境PJ」の3つに主事会メンバーが分かれ取り組んだ。今年度実施した研修内容は以下のとおり。</p> <p>5月…「惣菜さくらの取り組み～お昼は惣菜さくらで～」 講師：宮澤俊子氏(惣菜さくら代表) 「恒川遺跡に対する地域の取り組み」 講師：塩澤哲夫座光寺公民館長</p> <p>6月…「名勝「天龍峡」の概要と活性化に向けた取組みを学ぶ」 講師：天龍峡そば普及組合、天龍峡この指とまれ、天龍峡ご案内人</p> <p>8月…大平宿の歴史と保存再生活動の取組み ～大平宿の保存再生にかける思いとは～ 講師：伊坪修氏(木下建設(株)取締役総務部長)</p> <p>9月…いまさら聞けない公民館主事の役割&仕事について皆で話そう ～「持続可能な地域づくりに向けた取組み」から「チラシづくり」まで～</p> <p>10月…「若者がどのように「地域」を捉えているか。上村の取り組みから考える。」話題提供：村澤勝弘主事</p> <p>11月…「持続可能な地域づくりに向けて、小中連携・一貫教育の推進を図る」 交流市：和歌山県田辺市公民館、話題提供：小島一人主事</p> <p>12月…人形劇PJ研修「人形劇の活かし方を考える」 1月…地域人PJ研修「高校生に対するアプローチはなぜ必要か」 2月…環境PJ研修「公民館が取り組む環境学習の在り方を考える」 「地域協働コーディネーター養成講座の内容について」 話題提供：新井康平主事、片岡博昭主事</p> <p>3月…「社会教育主事講習報告」 和田健太郎主事 「フィリピンレガスビ市報告」 熊谷隆幸主事</p>	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>幹事会は、定例主事会の概ね2週間前に半日開催。定例主事会で意見が活発に出されるにはどうしたら良いのかを考えながら議事の組み立てを議論した。定例主事会は、原則1日開催とし、主事会全員が集まり議論する場としている。今年度は、過去数年の情報交換しにくいという反省から座席を口の字から変更し小グループの島を4つ作り、意見交換をしやすい会場設営を行ってみた。しかし、実際に研修以外でグループで話し合いができたのは数回であり、上手く活用できなかったのが現状である。</p> <p>研修は幹事が中心に考え、事前に定例主事会で確認し修正しながら進めていった。飯田市公民館大会のテーマである「持続可能な地域をめざし、これからの公民館と地域づくりを考える」の「持続可能な地域」とは何か、そのために公民館はどのような役割を担えば良いのかを考え共有できたことは大きな成果だったように感じる。しかし、研修を開催するにあたって、研修の意図や成果をはっきり示せなかったことから、全主事の腹に落とせない研修も出てきてしまった。</p> <p>今年度は、1月定例主事会から今年度の反省点を出しながら主事会を次年度どうしていけば良いのか議論してきた。公民館の役割や主事の専門性を改めて見つめ直し、有意義な主事会となるよう考えていきたい。</p>	評価				

飯田市公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	人形劇プロジェクト		他会計	継続	16	96	6	6	通年	文化会館 他
	目的	みる・えんじる・ささえるのパワーアップを目指す	実施内容			<p>プロジェクト会議: 16回</p> <p>①地区公演の円滑な運営を</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区公演プログラムの編成、会場運営責任者会実施(マニュアル更新) プレフェスタ実施 <p>②地区の独自企画、地区をつなぐ取り組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区オリジナル企画、バス・電車ツアーとりまとめ、スタンプラリー実施 <p>③フェスタ本部と地区実行委員との連携強化や情報共有化を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> フラワーガーデン実施(パーク部会)、夜のサロン実施(交流事業部会) フェスタの理念、目的の共有化(会場責任者会議) <p>④公民館が人形劇を行う目的の整理</p> <ul style="list-style-type: none"> カーニバルからフェスタまでの35年を振り返り、公民館がどの様に関わりをもって来たか、また地域づくりにどの様につながってきたかを研究し、主事会等での共有化を図る。 主事会研修の実施・過去の資料のまとめ 会場運営者の意識調査(実施報告書へ組み入れ) 				
	評価	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>フェスタの意義を共有することや地区の事例発表を会場責任者会に取り入れるなど、他地域への波及を狙った取り組みを行った。今年度は特に会場運営を行っている方々がどの様な想いで人形劇に関わっているかを調査するため、上演結果報告書の様式変更を行い、概要版としてまとめた。その結果を本部会議で伝えたことにより、各部会で地域の声を反映した議論が始まり、本部・地区といった垣根を越え、人形劇をより盛り上げる気運につながった。</p> <p>また、PJ目的の柱である”主事の意識の共有化”を図るため、35年の公民館と人形劇の関わりや主事がどの様に関わりを持ったかを紐解く研修を行うとともに、過去のPJで総括してきた”人形劇を活かす”ことを具体的に地域課題などどの様に結び付けるか議論を行った。これらの議論を地区オリジナル企画に反映できるように要項の改正に取り組んだが、地域活動がより元気になる取り組みのきっかけづくりに人形劇が活かしていくためには、更なる検証が必要である。より多くの地域の声や想いを形にしていけるためにも、机上での議論ではなく、現場の声を吸い上げる仕掛けづくりを引き続き検討すると共に、過去のPJや女子短との共同研究で積み残されている課題をしっかりと検証・研究していく必要がある。</p>								
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	環境プロジェクト		市費	継続	18	126	7	7	通年	山本公民館 他
	目的	公民館として環境学習にどう取り組むか考察する	実施内容			<p>プロジェクト活動回数 18回</p> <p>①環境問題に対する現状把握</p> <p>②学習会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> 気候変動の地域への影響実感プログラム報告会 <p>③懇談会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境モデル都市推進課 今村公人氏 <p>④2月主事会研修の実施</p> <p>「公民館が取り組む環境学習の在り方を考える」</p> <p>⑤環境学習へ不足している視点の追加、整理</p> <p>⑥PJメンバー内での環境意識の啓発活動の実施</p>				
	評価	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>各公民館で環境への取り組みを展開しているが、環境は分野が多岐わたり、また、取り組みの成果が見えにくいいため、各公民館では取り組みにくさを感じ、公民館が何をすべきなのか明確にイメージできていないため、環境PJでは公民館が環境へどうという視点で取り組むかを考察し、公民館の役割を研究してきた。活動内容として、専門的な知識を持って取り組んでいる法政大学、政策として市民への浸透を図る飯田市環境モデル都市推進課、地域で環境学習に携わっている今村公人氏との懇談を通して、環境の現状や地域の想いを学んだほか、各地区の環境の取り組みの現状整理を行い、主事会研修では各地区の環境の取り組みへの公民館主事の考え方を聴き、公民館が環境へ取り組む目的、公民館はどのように環境という分野へ取り組むことができるかという点について、PJとしての公民館の役割をまとめることができた。</p> <p>環境は、生活とのつながりを実感しづらく、地域の関心が高まりにくいいため、取り組みにくいテーマである。しかし、地域の持続を考えた時、公民館は生活と関わりがある分野へは取り組む必要がある。PJとして考えてきた環境分野への取り組みとしては、地域への想いを入口に地域に密着した取り組みを展開するという結論となった。また、環境以外でも、生活とのつながりを実感しづらい分野はあるが、それらについても同様のことがいえる。今年度は、環境に取り組む公民館の役割の確認ができたことは成果であったが、公民館が環境へ取り組む目的を達成するための手法の検討ができなかったことは課題である。</p>								

飯田市公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場		
	地域人教育プロジェクト	市費	継続	18	131	7	8	実施内容参照	鼎公民館 他		
その他	<p>高校生のふるさと意識や社会貢献意識の醸成を図る取組みを研究する</p>	実施内容	<p>①飯田OIDE長姫高校商業科「課題研究」(3年生)の支援 3年生が取り組む課題研究の支援。6地区で課題研究が行われ、地域の様子や自分のふるさとを考える機会として支援した。[課題研究担当地区]…橋北、東野、松尾、下久堅、鼎、上村</p> <p>②飯田OIDE長姫高校商業科「広告と販売促進」(2年生)の支援[担当地区]…橋南 2年生の授業である「広告と販売促進」の支援。りんご並木で行われるイベントへの通年参加と、地域にこだわった活動をしている人を講師に招いた「地域の匠講演会」の実施。</p> <p>③飯田OIDE長姫高校商業科「ビジネス基礎」(1年生)の支援 7月28日、29日の2日間をかけて、中心市街地(橋北、橋南、東野地区)のフィールドスタディを実施。</p> <p>④事前事後アンケートの実施 1年生から3年生までの生徒全員に活動前と活動後の2回、同内容のアンケートを実施し、地域人教育の授業の効果を調べる。</p> <p>⑤研修会、学習会の実施 ・飯田OIDE長姫高校教諭との合同学習会[5月21日] 目的: 公民館活動と高校教育(商業教育)の共通点を探る ・松本市上土商店街のまちづくりと学生の活動に関する視察研修[12月2日] 目的: ・地域人教育を進めるための、地域の受け皿作りの方法を学ぶ。 ・地域課題解決のために、地域人教育事業をどのように地域が生かしていくかを学ぶ。 ・主事会研修「高校生に対するアプローチはなぜ必要か! ?」[1月20日] 目的: ・地域と高校生が共に活動を実践した事例を聞き、地域にもたらされる影響について考える。 ・地域に住む高校生へのアプローチがどうして必要なのかを考える。</p> <p>⑥プロジェクト会議の開催 以上内容を協議、検討するために、計18回の会議を開催した。</p>				評価	<p>【総括と今後の方向付け】 今年度で3年目となるが、引き続き、飯田OIDE長姫高校商業科の授業の中での支援を行った。今年度は、地域に入って活動する高校生が得られる効果とともに、高校生を受け入れる側の地域への効果も得られるような取組みを行うこと、主事や先生が変わっても高校生が地域に入り続けることができる環境を整えることを目指した。 各地区での活動の中での取り組みとともに、実際に学生が地域に入り効果が出ている松本市上土地区へその取組みの視察へ行き、「高校側と地域側、互いの目的を理解した上で活動を進めていくことの重要性」や「両者が同じ地域で活動を行い、信頼や思いを気付いていくことで、地域内に高校生を受け入れる受け皿ができ、継続した活動ができる」ことを学んだ。また、高校生が地域課題の解決のために一緒に活動することで、高校生が地域住民間の潤滑油の役割を担ってくれ、スムーズに課題解決のための活動ができることを学んだ。これらのことをうまく進めていくと、高校側と地域側で「Win-Win」の関係を得られるのではないかと。今年度は地域人教育を行った全ての生徒に活動の事前事後の2回アンケート調査を取り、高校生への効果を数値化した。学年によって、特徴は出たが、地域人教育を行うことで、「地域への愛着」は増し、「自分が住む地域を良くしたい」と思う生徒が増える傾向が見て取れた。これらの地域人教育から生まれる高校生の意識変化をより高めていくことで、全市的に課題となっている人材サイクルが構築され、地域の持続性が生まれることが期待される。 今年度のプロジェクトでの活動を通して、「高校生のふるさと意識や社会貢献意識の醸成を図る取組み」を行うための枠組みが見えてきた。次年度はプロジェクト体制を取らず、今年度の取組みの中で見えてきた枠組みを使いながら、各地区で引き続き高校生教育を行っていくこととしたい。</p>			

橋北公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	3館(橋北・橋南・東野)合同乳幼児学級		市・地	継続	18	350	32	98	実施内容参照	橋北公民館他
	目的	2歳児とその保護者を対象に、親子、子ども同士の触れ合いの場、親同士の交流の場を作り、子どもの健全な成長を図る	実施内容	東中学校区3館合同で、橋北が2歳児を担当。内容は学習と交流に重点を置き参加保護者と相談し決定。 【開催概要】 ①5/13開講式②6/3仲良くなりまいかゲーム③6/13ことばを育てる遊び④7/1小麦粉粘土で遊ぼう⑤7/15わらべうたでふれあおう⑥9/2ぶどう狩りにGO!⑦9/16もしもの時の救急法⑧10/16消防車を見に行こう⑨10/22秋の大運動会⑩11/4トイトレーニングのお話⑪11/18飯田動物園へGO!⑫12/2Xmasの準備⑬12/22Xmasパーティー⑭1/20図書館へお出かけ⑮2/3「おにはそと」節分ごっこ⑯2/17記念品づくり⑰3/3閉講式				評価	【総括と今後の方向付け】 公民館、保健師、保育士の3者による運営側でしっかりと打ち合わせが出来、理念や約束事を共有しスタートできたことは良かった。また、3地区を意識し、合同開催なども例年より多く盛り込み交流を図れた。ただし、少子化が進む中で、年々対象者が減ってきているため、3館合同の在り方も検討していく必要がある。	
学級・講座	北斗のまち・さわやか講座		市・地	新規	11	25	25	3,283	実施内容参照	橋北公民館ほか
	目的	地域住民を対象に連帯意識、仲間作り、交流と学習の場づくりを目指す	実施内容	地域内在住の方を中心に講師に招き、身近な内容について学習する ①4/25 丘の上の大地と水環境/飯田市美術館学芸員 村松武 氏 ②5/23 風の学舎/訪問 ③6/27 障がいを知り、共に生きる会いサポーター研修会～障がいのある人もない人も共に生きる社会を目指して～/長野県健康福祉部障がい者支援課 信州あいサポート推進員 岩波明子 氏 ④7/25 長野県ゆかりの童謡・唱歌・抒情歌/飯田下伊那合唱連盟理事長 清水正則 氏 ⑤8/22 飯田下伊那のお菓子の歴史/有松寿堂代表取締役 黒田誠 氏 ⑥9/26 豊かなコミュニケーションのために～聴覚障害とは～/飯田手話普及委員会委員長 片山茂 氏 ⑦10/24 天龍峡歩きと天龍峡そばを食す/訪問 ⑧11/27 家庭や地域社会での高齢者の役割/飯田市男女共同参画推進委員 窪田政子 氏 ⑨12/26 飯田弁の魅力/飯田東中学校 井上伸児 氏 ⑩1/23 家計にやさしい省エネ講座/NPO南信州おひさま進歩 小室勇樹 氏 ⑪3/6 市役所新庁舎見学/訪問				評価	【総括と今後の方向付け】 さまざまな分野の学習をすることができた中で、和菓子など地元に関係するテーマも取り上げた。 バスハイクによる見学は、下久堅の風の学舎、天龍峡へ訪問した。また、新庁舎へ訪問見学、議会の傍聴も行った。	
学級・講座	木下陸奥氏文化講演会		市費	新規	1	25	25	3,283	6月8日	橋北公民館
	目的	地域住民を対象に、公民館活動への理解及び積極的な参加の啓発を図る	実施内容	竜丘公民館長、飯田市公民館長を歴任された木下陸奥氏を講師として招き、自身の公民館活動の経験やそこから得られたもの、地域自治の醸成をテーマに講義していただいた。				評価	【総括と今後の方向付け】 参加者は公民館委員が中心であったが、地域自治の醸成に関するお話は、将来的に自治会を担っていく現公民館委員にとって、有意義なものになった。	
学級・講座	橋北公民館連続講座		0円	継続	2	40	20	3,283	2月19日、3月5日	橋北公民館
	目的	地域住民を対象に、身の回りの環境や景観を顧み、地域の魅力と可能性を知ることを行う	実施内容	橋北地区の景観をテーマに以下の通り実施。 講師：飯田市歴史研究所 研究員 樋口 貴彦 氏 第1回：欧州の山岳都市と飯田 第2回：橋北の見方と歩き方				評価	【総括と今後の方向付け】 例年の連続講座は橋北地区内の歴史的な資源等を取り上げた講座であったが、今回は視点を変えて、スイスに在住していた飯田市歴史研究所の樋口研究員をお招きし、ヨーロッパの都市と飯田を比べた時の魅力等、橋北という町の景観についてお話いただいた。橋北まるごと博物館研究会の方々にも声掛けを行った。	

橋北公民館の事業報告

No.2

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	マレットゴルフ教室		他会計	継続	9	223	42	3,283	実施内容参照	実施内容参照
	目的	主に高齢者を対象に、交流と健康増進を目指す。	実施内容	開講式：4/9親水(下久堅) 定例会：5/14座光寺、6/11アカシア(豊丘)、8/6清流苑(松川)、10/8座光寺 大会：第58回7/9アカシア(懇親会あり)、第59回9/10清流苑、第60回11/12座光寺 閉講式：12/3親水(下久堅)			評価	【総括と今後の方向付け】 交流会などを通じて交流を深めることが出来ている。開講前に予め初心者など新会員に対して、競技規則やマナーの講習を実施。また教室自体を自主運営していく雰囲気も出てきているので大切にしていきたい。		
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	橋北地区文化祭		市・地	継続	1	800	800	3,283	6月28日・29日	浜井場小学校
	目的	地域住民を対象に、各種団体の展示・発表を通じて住民相互の交流を目指す	実施内容	地域間交流及び浜井場小学校の地域学習との連携として、南信濃木沢地区の方々を迎え、浜井場小学校児童による笛の演奏で霜月まつりの特別演舞を実施。 公民館の教室・グループを中心に地元の保育園・幼稚園・小中学校の発表・展示などを行った。 まちづくり委員会や地域の地域おこし団体等の展示や出店、バザーなども行った。 地域資源として、橋北音頭総踊り、お囃子復活事業、春草・測候所関連の展示も実施。 環境学習の一環でNPO南信州おひさま進歩の協力により、ソーラーカーなどの展示と環境に関するクイズ大会を実施。			評価	数量的成果 (項目名と数値) 【総括と今後の方向付け】 地元団体による展示、芸能発表も規模を維持しつつ、地域間交流も力を入れて行った。特に霜月祭りの特別演舞では、浜井場小学校の児童も笛で共演し、地域住民に対して浜井場小学校の遠山地区での課外学習について、広く周知することができた。		
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2014橋北地区公演		他会計	継続	4	441	441	3,283	実施内容参照	実施内容参照
	目的	地区内外の観劇者を対象に、地区内のボランティアスタッフがフェスタを盛り上げ、楽しさを共有することを目指す	実施内容	橋北地区内4会場にて以下の通り実施。 8/7 会場：橋北公民館1階会議室 スタッフ：橋北男塾 8/8 会場：飯田創造館2回201号室 スタッフ：橋北公民館文化部 8/9 会場：おさひめチャイルドキャンプ スタッフ：当該施設職員及び児童 8/10 会場：信毎販売(株)飯田支店 スタッフ：江戸浜分館			評価	【総括と今後の方向付け】 スタッフも長年人形劇に携わっており、劇人との入念な打ち合わせや快適な会場づくりのための工夫をしたりするなど、劇人及び観劇者双方が楽しめる公演にしようとする姿が印象的だった。		
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	橋北歌うたべ		地区費	継続	1	37	37	3,283	1月24日	橋北公民館
	目的	地域住民を対象に、歌を通じて親睦と交流を目指す	実施内容	昨年に引き続き、まちづくり委員会の各団体にも参加依頼をし交流会の色を濃くして開催した。 また単に歌うことだけではなく、他の出し物も出演可能とし、演芸大会要素も取り入れた。 地域住民の方に音響関連で協力を頂き開催している。			評価	【総括と今後の方向付け】 地区内の社会教育団体からの参加者が例年よりより少なかったのは残念であった。ただ、結果的に参加者の多くが歌えたのは良かった。		
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ワンバウンドふらばーるバレーボール大会		地区費	継続	1	50	50	3,283	7月13日	浜井場小学校体育館
	目的	地域住民を対象に、日頃の運動不足解消と交流を図る	実施内容	子どもから大人までが混合でチームをつくり、交流を主として実施。 参加チーム：町内チーム5(大門町、桜町1、桜町2、江戸町、江戸浜) 公民館部員チーム 優勝：大門町 準優勝：江戸浜			評価	【総括と今後の方向付け】 昨年は数日間で開催したが、今年は1日開催とした。1日開催の方が参加しやすいとか短期集中で大会自体が盛り上がるといった声も聞かれた。		

橋北公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	橋北市民運動会		地区費	継続	1	750	750	3,283	10月11日	浜井場小学校校庭
	目的	地域住民を対象に、レクリエーションスポーツを通じて住民相互の交流を図る	実施内容	公民館委員のみならず、まちづくり委員会役員や各種サークル等も協力して運営した。 種目はレク要素多くを取り入れ子どもから高齢者まで多くの方が参加しやすい内容としたが、競技性、勝負性のある種目も継続して実施した。 全員参加のじゃんけん大会を継続で実施。 昼休みに、参加者全員による浜井場小学校校歌ダンス及び港北音頭も実施し、引き続き橋北音頭への普及へと繋げた。			評価	【総括と今後の方向付け】 総参加・総運営を合い言葉に昨年からの新企画も好評だった。採点種目があることで、勝負性が出て盛り上がるといった声も聞かれた。小学校児童が橋北音頭と一緒に踊ってくれる試みは、地域文化の継承という意味で良いものになった。		
体育事業	ウォーキング講座		市・地	継続	1	17	17	3,283	10月29日	浜井場小学校体育館
	目的	地域住民を対象に、冬場の運動不足の解消とウォーキングのモデルコースの創設を目指す	実施内容	2回の連続講座として、1回目は体育館で歩き方の講習、2回目は橋北地区内を歩という計画をしたが、2回目は雨天中止。 講師：羽場地区スポーツ推進委員 清水 亮 氏			評価	【総括と今後の方向付け】 第2回目は雨天中止に立ってしまったが、コース作りはしたため、講座を継続して実施することで複数コースを作り、モデルコースづくりにつなげていきたい。		
体育事業	囲碁ボール大会		地区費	継続	1	66	66	3,283	11月30日	浜井場小学校体育館
	目的	地域住民を対象に、レクリエーションスポーツを通じて住民相互の交流を図る	実施内容	昨年に引き続き実施。 自治会単位、各種団体、まちづくり委員会、一般等から計18チームが参加し、ブロック単位の大会とした。			評価	【総括と今後の方向付け】 子供も大人もみな楽しんでいた。来年度も継続して実施し、橋北地区内で囲碁ボールを行う社会教育団体の発足につなげられるようにしたい。		
体育事業	ボウリング大会		地区費	継続	1	27	27	3,283	1月18日	アストロボウル
	目的	地域住民を対象に、冬場の運動不足と住民間の親睦交流を図る	実施内容	参加要件は子どもから大人までとし世代間交流の場としても活用。参加者増を目指し前回から参加費を500円一律とし差額は公民館負担とした。 会場は橋北地区に近いアストロボウルとした。			評価	【総括と今後の方向付け】 昨年より参加者は減ってしまったが、大会自体は盛大なものとなった。来年度はチラシの回覧だけではなく、公民館委員による声掛けにも重点を置いて実施したい。		
広報事業	館報橋北		地区費	継続	年5回発行			3,283	実施内容参照	
	目的	地域住民を対象に、地域を考えるきっかけ作りを目指す。	実施内容	年度当初の役員挨拶のみ、まちづくり委員会との合併号とする。 公民館事業にかかわらず、様々な会議などに広報部員が積極的参加し情報収集し情報発信をしている。 228号(6/10)、229号(9/9)、230号(12/9)、231号(2/10)、232号(3/31)			評価	【総括と今後の方向付け】 春草生誕地記念公園の整備過程を数回にわたって取り上げることで、発掘作業や工事の様子を広く地域住民に周知することができた。		
育成事業	工作・実験体験教室		市・地	継続	1	30	30	3,283	6月28日	浜井場小学校
	目的	地域住民の親子(子どもと大人)を対象に、親子や世代間の触れ合いの機会を図る	実施内容	文化祭の中で実施。工作教室：「紙をとぼそう、吹き矢を作るとぼそう」 講師：おもしろ科学工房			評価	【総括と今後の方向付け】 今回は理科室で行ったため、実験の雰囲気が出ており、参加者からも講師からも好評であった。		

橋北公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	旧飯田測候所見学とソーラーオルゴール作成	地区費	新規	1	18	1	3,283	7月29日	旧飯田測候所
	目的 橋北地区の小学生とその保護者を対象に、環境保全意識の啓発を図る	実施内容 旧飯田測候所の見学及び環境問題に関するクイズ、ソーラーオルゴール作成を南信州おひさま進歩の小室氏の指導の下行った。	評価 【総括と今後の方向付け】 初の事業であったためか、参加者数は決して多くはなかった。事業の内容は子ども向けだが大人の参加者も関心していたので、次年度以降はいかに参加者を多く集めるか周知方法等を考える必要がある。						
育成事業	しめ飾り講習会、もちつき交流会	市・地	継続	1	50	50	3,283	12月7日	
	目的 地域住民を対象に、3世代交流の場、伝統行事継承を目指す	実施内容 地元住民を講師に招き、伝統文化の体験・継承、多世代交流を図るしめ縄飾りづくりは地区在住の方を講師に招き開催。餅つき大会は、各家庭で行わなくなった、杵と臼を使った餅つきを体験する。	評価 【総括と今後の方向付け】 参加者が例年より多く、大変盛況だった。祖父、祖母が孫を連れてくるといった姿も見られ、世代間交流という点では良い機会となった事業であった。						
育成事業	和菓子づくり体験講座	市・地	継続	1	29	29	3,283	2月8日	浜井場小学校
	目的 小学生児童とその保護者を対象に、地場産業の和菓子を作ることで、親子の触れ合いと地場産業への学習の機会を目指す	実施内容 地場産業である和菓子について学び、児童とその保護者と共に製作した。講師：城田茂さん(有田月)いちご大福と桜餅を製作	評価 【総括と今後の方向付け】 昨年に続いての開催。講師と打ち合わせをする中で、和菓子は季節のお菓子ということで、昨年度は夏に実施したが、今年度は冬に実施した。地元の和菓子店主に講師を依頼し、多くの児童とその保護者の参加があり好評であった。						
合同事業	ふるさとコンサート(橋北・橋南・東野3館合同)	市費	継続	1	150	150	9,293	7月20日	川本喜八郎美術館下広場
	目的 地域住民を対象に、身近な場所で音楽に触れてもらう機会を作ることを図る	実施内容 東中学校区の橋北、橋南、東野の3公民館が専門委員の協力を得ながら実施。東中学校吹奏楽部のサクソ担当の生徒とのセッションによる演奏も行った。演奏者：サクソフォンカルテット桜	評価 【総括と今後の方向付け】 身近な場所で音楽を気軽に楽しめる機会になった。今年は飯田東中学校吹奏楽部が出演し、演奏家と演奏できたり、活躍する場面を住民に観てもらえたりと、生徒にとって貴重な体験となった。今後も演奏家と地区内の学校や音楽系サークルをつなげていきたい。						
合同事業	橋北・橋南・東野地区合同 成人式	他会計	継続	1	102	102	147	1月11日	飯田市公民館
	目的 新成人を対象に、自らが郷土学習を通じて、郷土への愛着を持てる機会を目指す	実施内容 東中学校区(橋北・橋南・東野)合同成人式新成人により実行委員会を組織し、地元の方の協力を得ながら、地域の特色を活かした成人式を作り上げる。地域学習としては、今年度大幅改修を終えた飯田市立動物園について学習をした。	評価 【総括と今後の方向付け】 地域学習は実際に動物園の飼育員の方を講師としてお招きし、改修のコンセプトや園の歴史を語っていただき、内容の濃い学習ができた。式典当日までの企画運営には多くの実行委員が主体的に取り組めた。						
合同事業	(橋北・橋南・東野)3館合同文化講演会	地区費	継続	1	41	41	9,293	1月25日	東野公民館
	目的 地域住民を対象に、地域を知り愛着を深めることを目指す	実施内容 東中学校区三館合同事業として実施。演題：飯田・上飯田の豊かな歴史の歩み講師：飯田市歴史研究所 研究員 安岡 健一 氏	評価 【総括と今後の方向付け】 若い世代の人も参加できるように、休日の昼間開催としたが、参加者が少なかった。今後は開催日時も検討とともに、「文化」に対する掘り下げ方の検討をする必要がある。						

橋北公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	橋北まるごと博物館研究会事業		0円	継続	5	100		3,283	実施内容参照	橋北公民館ほか
	目的	地域住民を対象に、知ることを目的に地域資源を活かすことを目指す	実施内容	地区内の資源について知っていても語れない。そんな資源を光らせ誇りを持って語れるように学習やイベントを開催。 4月：橋北ゆかりの偉人・著名人のリストアップ作業 4月～5月：リストアップした橋北ゆかりの偉人・著名人の経歴、業績等の調査 6月28日、29日：文化祭にて橋北ゆかりの偉人・著名人のパネル展示 10月30日：講演会（演題：柳田國男ゆかりの飯田・橋北地区神社仏閣の建築様式 講師：小林 多門 氏）			評価	【総括と今後の方向付け】 自主的な活動にも繋がり、地域の資源について、知ること、それを伝えることについて深まってきている。		
合同事業	中心市街地シャレットワークショップ		地区費	継続	4	147		3,283	実施内容参照	橋北公民館ほか
	目的	地域住民を対象に、大学生等の共同研究に協力し、地域学習意欲の向上及び地域への愛着を深めることを図る	実施内容	「空き家・空き店舗を活用した市街地再生をデザインする」をテーマに掲げた、豊橋技術科学大学、豊田高専、長野高専等の共同研究に。地域住民も地域課題解決のため意見交換などを行い共に空き家・空き店舗の再生に向けた取り組みを実施。 7月11日：事前学習 8月16日：意見交換会&懇親会 8月19日：公開成果発表会&懇親会			評価	【総括と今後の方向付け】 昨年に引き続いての取り組み。まちづくり委員会の重点目標の一つである、空き家対策をテーマに、空き家の活用について提案をいただき、その後の地域の取り組み（橋北のまちづくりを担う有志の会の発足）にも大きく寄与することとなった。		
合同事業	橋北地区伝統文化保存継承プロジェクト		市・地	継続	24	500	20	3,283	実施内容参照	橋北公民館他
	目的	地域住民を対象に、横笛等の練習をしお囃子復活を目指す。	実施内容	橋北地区伝統文化保存継承プロジェクト・橋北まちづくり委員会が主催プロジェクトへ側面支援の形で携わっている。 横笛に加え太鼓の教室も定着。 横笛演奏教室：年度内24回開催 お囃子発表会：6月29日（文化祭にて）			評価	【総括と今後の方向付け】 いよいよ来年に迫ったお練り祭りに向けて、公民館としても全面的にサポートしたい。		
合同事業	橋北面白倶楽部活動支援（地域人教育関連）		他会計	継続	2	2,000		3,283	10月12日、12月21日	旧飯田測候所ほか
	目的	地域住民（面白倶楽部員と長姫高校生）を対象に、事業を通じ地域を知り愛着を深めるを目指す	実施内容	地区内地域づくり団体と飯田OIDE長姫高校商業科が連携して、橋北市民運動会とイルミネーション事業を共同開催。飯田OIDE長姫高校は地域人教育の一環として3年連続の取り組み。運動会では参加者に対してアンケートによる意識調査の実施と競技への参加、イルミネーションでは、商業科と工業科の合同による自転車発電ブースの設置やキャンドル作りなどを企画運営。合間には、アンケートも実施。			評価	【総括と今後の方向付け】 地域においても一昨年から継続して高校生を受け入れていることで、地域内の認知度が高まっており、また受け入れ態勢も整ってきている。地域と高校生の双方にメリットが生まれるような取組みができた。		

橋南公民館の事業報告

区分	事業名			予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	0歳児学級「りす」(橋南・橋北・東野地区合同)			市費	継続	9	56	6	33	原則毎月第3木曜日	東野公民館
	目的	0歳児とその親を対象として行い、子どもの健全な成長をはかるための知識の習得と同士の交流の場とする。	実施内容	東中学校区三館合同で、橋南が0歳児を担当。内容については、参加の保護者の意見も参考に決定し、実施している。 <開催概要>①9/18開講式②10/9ベビーマッサージ(0、1歳合同)③10/16親子でふれあい遊び④11/20子育てや離乳食についてお話ししよう!⑤12/12クリスマス会準備⑥12/22クリスマスパーティー(0～3歳合同)⑦1/22絵本でお子さんの心を育てよう⑧2/19記念品作り・親子でふれあい遊び⑨3/19閉講式				評価	【総括と今後の方向付け】 0歳児は生まれた時期により成長の差が大きく、寝返りもできない子どもから、はいはいで動き回る子どもまで参加しており、親子のふれ合いや子育ての知識を学ぶ内容が中心となった。学級は雰囲気も良く、親同士の交流、情報交換の場として機能していた。今後も成長段階に応じて必要な内容を提供できるよう、保健師や保育士とともに計画を立て実施していきたい。		
学級・講座	1歳児学級「わかば」(橋南・橋北・東野地区合同)			市費	継続	19	257	13	58	毎月原則第2、第4火曜日	東野公民館
	目的	1歳児とその親を対象として行い、子どもの健全な成長をはかるための遊び、活動を行うほか、親の知識習得、親同士の交流の場とする。	実施内容	東中学校区三館合同で、橋南が1歳児を担当。内容については、参加の保護者の意見も参考に決定し、実施している。 <開催概要>①5/27開講式②6/10親子で楽しく遊ぼう③6/24離乳食についてのお話④7/8親子で楽しく遊ぼう⑤7/22わらべ歌でふれあおう⑥8/26いざという時に備えよう!救急のお話⑦9/9ダンボールで遊ぼう⑧9/30絵本で子どもの心を育てよう⑨10/14ミニ運動会⑩10/28動物に会いに行こう⑪11/11子どもとお母さんの歯の話⑫11/25体を動かそう⑬12/9クリスマス準備⑭クリスマスパーティー(0～3歳合同)⑮1/13大きな布で遊ぼう⑯1/27子どもの言葉育てよう⑰2/3記念品作り⑱みんなで作って食べよう(豚汁作り)⑲3/10閉講式				評価	【総括と今後の方向付け】 数量的成果 (項目名と数値) 大変良かった14、まあまあ良かった1 【総括と今後の方向付け】 開催日が月2回ということもあり、より活動的な内容や成長段階に応じた知識を得る機会を設け、充実した活動ができた。親同士の交流や情報交換の場とするため、当初より学級の後半にいくつかのグループに分けて、情報交換をする機会を設けるよう心掛けた。次年度も、参加者の自主性を引き出しつつ、「親子ともに育ちあう」場となるようにしていきたい。		
学級・講座	なかよしリズム隊			市費	継続	21	478	22	50	毎月第1、第3火曜日	橋南公民館
	目的	0～3歳児とその母親を対象として、リズム体操を中心に親同士の交流や育児に関する情報交換の機会とした。	実施内容	・音楽に合わせて親子で体を動かすリズム体操を行い、親子のふれあいや、乳幼児の健全な成長を促す。 ・親同士が、子育てに関する情報交換や悩み事の相談など、気軽に交流し、仲間作りができる場とする。 講師 長沼 香氏				評価	【総括と今後の方向付け】 リトミック体操を中心に親子で体を動かす活動を行った。次年度以降もリトミック体操を中心に据え、仲間作りの場としていきたい。また、交流の場の中で、行政などへの要望などを聞き、事業に生かしていきたい。		
学級・講座	環境講座 ラベンダー関連講座			地区費	継続	5	70	14	2,912	5月15日、6月5日、19日、30日、10月26日	橋南公民館
	目的	市民を対象に、環境に関する意識の向上、知識の習得を図る	実施内容	橋南地区で取り組んでいる生ごみの分別回収と、その生ごみをもとに作った堆肥を使用したラベンダーを使った講座を開催。 ・5月15日、6月5日、19日「ラベンダー入りりんごのストラップを作ろう」講師 松葉 智子氏 ラベンダーを芯にした、りんごのストラップを作成した。(手の芸の会と共催) ・6月30日「ラベンダースティックを作ろう」講師 松下 啓子氏、加藤 三鈴氏 ラベンダーの花を利用したクラフト作りの1つとして、ラベンダースティックを作る講座を実施した。 ・10月26日「ラベンダー挿木講座」(環境委員会と共催)				評価	【総括と今後の方向付け】 橋南地区内で取り組んでいる生ごみの分別回収と、生ごみをもとに作った堆肥を使用したラベンダー植栽事業について、公民館では学びに関する部分を担当している。 ・ラベンダースティック講座は、昨年に引き続きの実施であったが、新規で多くの方々が参加し盛況であった。来年度も継続して行いたい。 ・ラベンダースティック講座は「手の芸の会」と共催して行ったこともあり、参加者の固定傾向がみられる。 次年度以降、環境委員会と協力し、生ごみ→堆肥→ラベンダーの植栽までの行程を学ぶなど、別の視点からも学びを行っていく。		

橋南公民館の事業報告

No.2

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	親子パン作り教室		市費	継続	1	48	48	162	8月3日	飯田卸売団地内「コア」
	目的	実施内容	<p>市民(親子)を対象に子育て、教育を中心とした家庭の悩みの解消、知識の習得を図る機会とする。</p> <p>ファミリー会(「飯田米穀」「タイホーパン」「補助製パン」「ボンジュール」「カンパーニュ」の製パン店で作られている会)と共催で、親子で作るパン教室を開催。 材料をこねる、成形、発酵、焼き上げまでを行った。</p>			評価	<p>【総括と今後の方向付け】 地区内の製パン店に協力していただき、親子で協力し合ってパン作りができた。出来上がったパンもきれいに焼き上がり、参加者もとても満足していた。日頃忙しく、ゆっくりと共同作業ができない中で、良い機会になったと思う。口コミにより、参加者が増加傾向になり、来年度以降の募集方法に工夫が必要である。</p>			
学級・講座	ウォーキング講座		市費	継続	1	38	19	2,912	9月12日、14日	追手町小学校講堂、地区内
	目的	実施内容	<p>地区住民を対象に、ウォーキングでの体力増進を図る機会とする。</p> <p>・第1回 9月12日「ウォーキングの基礎講座」 ・第2回 9月14日「橋南地区内で実践ウォーキング」 講師:㈱アイスク 梅村 和代 運動指導士</p>			評価	<p>【総括と今後の方向付け】 開催時期を外を歩きやすい秋に設定し、屋内での基礎講座だけでなく、日常で実践できる、屋外でのウォーキング講座も行い、参加者には好評であった。今後も住民に興味を持って参加してもらえるよう工夫をしながら続けていきたい。</p>			
学級・講座	ふれあい健康講座		市費	継続	1	36	36	2,912	7月23日	橋南公民館
	目的	実施内容	<p>「食」から地域住民の健康に対する意識の向上を目指し、夏野菜を中心に、おいしい食べ方や熱中症予防のための効果的な野菜の食べ方を簡単な調理実習をしながら学習した。</p> <p>・7月23日「野菜のおいしい選び方・食べ方講座～夏野菜編～」 講師:野菜コミュニティ南信州の皆さん</p>			評価	<p>【総括と今後の方向付け】 「健康は食から」ということで野菜に特化した講座を行った。講義、実演ともに分かりやすく、参加者からの感想はとても良かった。前は冬の夜に行ったため、参加者が少なかったが、今回は地区内の健康づくり団体にも声をかけ、日中に行ったため、多くの参加者を得ることができた。今後も、健康推進部等の地区内の他団体との連携や開催日時を考えながら、引き続き「食」に関する講座を行ってきたい。</p>			
学級・講座	橋南文化講座(温故創新企画)		市費	継続	1	23	23	2,912	7月13日	橋南公民館
	目的	実施内容	<p>飯田市街地で毎年7月14日、15日に行われている「津島様」(祇園祭)の成り立ちや昔のお祭りの様子、事前に史跡巡りで訪ねた「津島神社」との関係も絡めて講座を行った。また、実際に「津島様」の飾り付けをしている地区へ行き、見学を行った。</p> <p>・7月13日「飯田市街地の「津島様」」 講師:松上 清志氏(高森町歴史民俗資料館)</p>			評価	<p>【総括と今後の方向付け】 橋南地区で「津島様」と呼ばれて行われている特色のある祇園祭にスポットを当てて講座を行った。事前に関係する「津島神社」に行ったこともあり、「知っていそうで知っていなかった」お祭りの由来を理解してもらえたのではないかなと思う。次年度以降も、地域の歴史や文化にスポットを当て、講座を行ってきたい。</p>			
学級・講座	橋南史跡ウォーキング		市費	継続	1	14	14	2,912	4月13日	地区内
	目的	実施内容	<p>地区住民を対象に、飯田の街の作りや史跡を実際に歩いて見学することで、まちづくりに込めた考え方や知恵を学習する</p> <p>・4月13日「橋南桜ウォーキング」ガイド:伊丹 和香氏 橋南地区内に残る桜の銘木について、周辺史跡などの見学、解説を交えてウォーキングを行った。</p>			評価	<p>【総括と今後の方向付け】 桜ウォーキングは、桜だけでなく、桜周辺の史跡の歴史も同時に学ぶことができた。参加者が固定化する傾向もあるため、次年度以降、少しずつコースを変える、若い人にも興味を持ってもらえるようなエッセンスを入れる等、色々な人たちが参加できるように工夫をしていきたい。</p>			

橋南公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	伝統・文化継承学級「手の芸の会」		市・地	継続	26	312	12	2,912	原則毎月第1、第3木曜日	橋南公民館
	目的	地区住民を対象に、地域の伝統・文化の継承と、それらを通じた仲間づくりの場を設ける。	実施内容	水引を使った「ものづくり」とそれを通じた「仲間づくり」の場とする。また、学級で作成した水引ストラップの人形劇フェスタ橋南地区公演での配布や、水引ブローチの追手町小学校の新生や卒業生への贈呈を行った。 ①「水引を使ってかぶとを作ろう」②「水引を使って菖蒲を作ろう」③「水引を使ってりんごを作ろう」④「水引を使ってりんごのストラップを作ろう」⑤「水引を使ってトンボや蝶々を作ろう」⑥「文化祭に向けて色々な作品を作ろう」⑦「水引を使ったアクセサリ作りをしよう」⑧「水引を使って春の花を作ろう」⑨「ラベンダー入り水引ブローチ(梅)を作ろう」				評価	【総括と今後の方向付け】 参加者も増え、作成するものも完成度の高い、創作性のあるものになってきている。講師は特に置いていないが、途中からの参加者には、長くやっている人が率先して教えるなど、参加者同士で教え合うことにより、参加者同士の連帯感もでき、仲間作りの場にもなっている。また、人形劇フェスタ地区公演で配布するブローチの作成を担うことで、地区行事への参加意識も高くなったと思われる。次年度以降も、より多くの住民に参加してもらえるような工夫をし、伝統の継承と地域の仲間作りの場としていきたい。	
学級・講座	地域の職人に学ぶ講座		市費	新規	2	26	13	2,912	6月25日、2月10日	橋南公民館
	目的	地区住民を対象に、学習や交流を通して、地域の職人を知る機会とする。	実施内容	・6月25日：第1回「おみそ作り講座」 ・2月10日：第2回「出来上がったおみその配布会」 講師：井伊 徹男氏(嶋田屋麴店) 地域の麴店の方を講師に、おみそや麴についての様々な説明を聞きながら、おみそ作りを行った。				評価	【総括と今後の方向付け】 地域にある商店の方を講師に迎え、地元にある文化を学んでもらおうことを目的に行った。講師と生徒が身近であるので、和気あいあいと学び合うことができたと思う。次年度以降も、地域で生業をしている方を講師に招き、地域の歴史や文化を学ぶ講座を行う。	
学級・講座	囲碁ボール体験講座		市費	新規	2	20	20	2,912	1月16日、21日	橋南公民館
	目的	地区住民を対象に、日頃の運動不足の解消、健康の増進と、住民同士の親睦、交流を図る	実施内容	今年度購入した囲碁ボールの普及のために、平日の昼間、公民館を会場に、誰でも参加できる囲碁ボール体験会を2回開催した。				評価	【総括と今後の方向付け】 回覧チラシを配布したが、なかなか人が集まらず、まだ囲碁ボールが地区に浸透していないことを実感した。「一度やってみる」ことが大切だと思うので、人が集まる場なども活用しながら、引き続き囲碁ボールの普及に努めたい。	
文化事業	飯田人形劇フェスタ 橋南地区公演		市・地	継続	1	241	241		8月9日	追手町小学校講堂
	目的	市民を対象に、人形劇に親しむ、参加する、支える機会とする	実施内容	地区実行委員会で実施。追手町小学校の劇団(3年生)とプロの人形劇団のジョイント公演を行い、公演終了後には交流会を行った。また、橋南地区のPRと来場者へのおもてなしを目的に、橋南地区で育てたラベンダーを使った水引ストラップを学級で作成配布した。 ＜上演作品＞ 追手町小学校3年生「劇団MAX」:「29ひきのねこ」 人形劇団ぼけっと:人形劇「さるかにばなし」、大型絵本「はだかの殿さま」				評価	数量的成果 (項目名と数値) 大変満足100、普通6、物足りない0 【総括と今後の方向付け】 昨年同様、追手町小3年生が学習の中で人形劇に取り組み、プロ劇団とジョイント公演を行った。地元劇団が上演することで、地区公演としての立場が明確になっていると感じる。今後もこのような方法で継続していきたい。昨年度より、追手町小学校の児童に当日ボランティアとして参加してもらっており、スムーズな会場運営の一助ともなっている。次年度以降は中学生にも声掛けをしていきたい。また、昨年度に引き続き、来場者にラベンダーブローチを配布し、とても喜ばれた。次年度以降も、続けていきたい。 前半後半の舞台転換の影響で、後半観客が半減してしまった。来年度以降は、観客全員に最後まで残ってもらえるように工夫をしたい。	

橋南公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	第19回橋南文化祭		地区費	継続	1	600	600	2,912	11月1日、2日	追手町小学校講堂
	目的	地区住民を対象に、公民館活動の学習成果の発表と地域学習の場を提供することを目的とする	実施内容	今年度から、会場を追手町小学校に移し、別に行っていた芸能発表会も合わせて行い、橋南地区の文化全般の発表の場とした。 ・企画展示「橋南地区の津島様」写真展示 ・公民館社会教育団体、各種グループ、まちづくり委員会、個人の展示発表 ・橋南子ども商店街・橋南児童クラブの児童の協力により実施 ・化学実験講座の実施 ・屋台の実施 ・飯田東中学校吹奏楽部演奏会 ・橋南芸能発表会 橋南まちづくり委員会健康福祉委員会と協力し、敬老会としても開催。				評価	【総括と今後の方向付け】 今年度試行的に、文化祭会場を追手町小学校1会場とし、芸能発表会も合わせて行った。展示発表など、昨年度までは来場者が少なかったが、分かりやすい場所が会場となったこと、芸能発表会と一緒にやったこともあり、「ついでに」という部分もあったが、多くの人が展示発表を見に来場してくれた。発表者、来場者ともに今回の方式にはおおむね好意的であったので、来年度以降も今年度と同様のやり方で、文化祭を開催していきたい。展示スペースには、適度な空間ができるため、講座の開催や憩いのスペース設置など、空間をうまく活用し、より多くの来場者に楽しんでもらえる文化祭としたい。	
文化事業	橋南史跡めぐり		市費	継続	2	96	48	2,912	6月29日、3月8日	地区外
	目的	地区住民を対象に、伝統的な街並みや史跡などの見学を行い、自らの地域の地域づくりのヒントを得る機会とする。	実施内容	・6月29日「津島神社、熱田神宮、国宝犬山城を巡る」講師：今村 光利氏 7月開催の講座「飯田市街地の「津島様」」の事前学習として開催。 ・3月8日「飯田にゆかりの伊勢を巡る」講師：今村 光利氏 麻績の起源である「神麻績機殿神社」、田中芳男コレクションのある神宮農業館のある倉田山の「倭姫宮」等を巡った。				評価	【総括と今後の方向付け】 橋南地区外での現地学習の機会として、夏と冬の2回行った。講師の分かりやすい解説と現地研修が好評で、多くの参加者を得られた。現地で学んだものを自分の地域に生かせるような学習題材を提案しつつ、継続して実施したい。	
体育事業	第29回橋南ウォークラリー大会		地区費	継続	1	100	100	2,912	6月8日	橋南地区
	目的	地区住民を対象に、ウォーキングでの体力増進および、橋南地区の街並み・歴史・文化を再発見する機会とする。	実施内容	設定されたコースを、交差点の略図のみが書かれた地図を頼りに、コース上の各所に地域の歴史や文化に因んだ問題を設定し、解きながら歩くようにしている。またスタート・ゴール地点の追手町小学校講堂では、橋南連合青壮年会や橋南まちづくり委員会育成部、日赤奉仕団や商店の協力や後援も得て、お楽しみ企画を行った。				評価	【総括と今後の方向付け】 普段の生活の中では見落としがちなのが、問題を解きながら歩くことで見えてくる、地域を再発見できる行事となっている。参加者の中心が小中学生となっていることから、来年度は、30回の記念大会を迎えることもあり、親子の参加はもちろん、祖父母世代も一緒に参加を促せるような工夫をしていきたい。	
体育事業	第27回橋南連合大運動会		地区費	継続	1	1,000	1,000	2,912	10月12日	追手町小学校校庭
	目的	地区住民を対象に、健康の増進と住民相互の交流を図り、当地区の活性化を推進することを目的とする	実施内容	橋南地区全体で取り組むの年一度の一大事業として実施。単独町内、または近隣町内でチームを組み、41ある全町内が参加する。子どもからお年寄りまで参加できる各種競技、いくつかの町内で組んだチーム対抗の競技で構成する。まちづくり委員会が主催し、公民館が主管する。体育委員が主導し、公民館、育成部、各町内選出の運営委員が運営にあたる。				評価	【総括と今後の方向付け】 橋南地区のあらゆる行事の中でも、もっとも地区の一体感を感じられる事業の1つである。多くの地区住民が追手町小学校に集まり、盛大に開催することができた。次年度以降も、全ての年代の住民が参加できるように競技を工夫しながら、開催していきたい。	
体育事業	橋南女性バレーボール大会		地区費	継続	1	40	40		10月20日	飯田東中学校体育館
	目的	地区住民(女性)を対象に、健康の増進と、地区内の女性の交流の場とする	実施内容	中学生以上の女性が参加対象のバレーボール大会。回覧文書で参加募集をし、近隣町内でチームを組んで参加してもらっている。今年度は3チームの参加があり、総当たりで試合を行った。飯田市女性バレーボール大会の予選会を兼ねており、優勝チームは後日開催される市大会へ出場する。				評価	【総括と今後の方向付け】 近隣町内でチームを組み参加する、多くの女性が集まり交流できる貴重な機会となっているが、仕事や家庭の事情で、参加チームが少なくなってきた。次年度以降、開催日時はもちろん、開催の有無の検討が必要である。	

橋南公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	橋南ソフトボール大会		地区費	継続	1	40	40	2,912	11月30日	追手町小学校校庭
	目的	実施内容	地区内回覧にて募集したチームによるソフトボール大会。今年度は3チームが参加し開催した。シニアソフトボールチーム、近隣町内チームに加え、公民館も体育委員を中心にチームを組み、大会に参加した。			評価	【総括と今後の方向付け】 年齢や性別も様々なチーム同士が交流することができた。今年度は、別のスポーツ大会の日程が重なってしまったため、参加チームが少なかった。次年度以降は日程調整をしっかりと行い、今年度と同様の方法で開催していきたい。			
体育事業	囲碁ボール大会		地区費	継続	1	35	35	2,912	2月8日	追手町小学校講堂
	目的	実施内容	囲碁ボール講習を受けての、当地区初めての囲碁ボール大会。地区内回覧により、地区内に広く参加者を募って開催した。			評価	【総括と今後の方向付け】 当地区ではまだこの競技が普及していないこともあり、参加者が少なかった。次年度以降、他事業に合わせた事前体験や地区内のグループでの体験教室など、積極的に囲碁ボールの普及を行いたい。			
合同事業	ふるさとコンサート 橋北、橋南、東野地区合同		市費	継続	1	150	150	9,293	7月20日	川本喜八郎人形美術館下
	目的	実施内容	橋北・橋南・東野の3館合同で実施。公民館委員がスタッフとして参加した。今年度は「サクソフオーンカルテット桜」を迎え、飯田東中学校吹奏楽部とセッションを行った。また橋南夏まつりと同時開催とし、屋外を会場にして実施した。			評価	【総括と今後の方向付け】 今年度は、橋南夏まつりと同時開催し、地元中学校吹奏楽部とセッションしたこともあり、大勢の方が来場され、とても盛り上がった。来年度以降も、地域住民も参加し、一緒に楽しめるコンサートにしていきたい。			
合同事業	3館合同文化講演会(橋北・橋南・東野)		市費	継続	1	41	41	9,293	1月25日	東野公民館
	目的	実施内容	橋北・橋南・東野の3館で合同開催している文化講演会。 ・「飯田における歴史公文書の保存・利用と飯田のあゆみ」 講師：飯田市歴史研究所研究員 安岡 健一 氏			評価	【総括と今後の方向付け】 若い世代の人も参加できるように、休日の昼間開催としたが、参加者が少なかった。今後は開催日時も検討とともに、「文化」に対する掘り下げ方の検討をする必要がある。			
合同事業	橋北・橋南・東野地区 合同成人式		市・地	継続	1	102	102	147	1月11日	飯田市民公民館ほか
	目的	実施内容	成人該当者を中心に、公民館委員、職員から組織する実行委員会で計画し実施。 ・成人式実行委員会の開催 ・郷土学習の実施(りんご並木60周年) ・式典の実施 ・祝賀会の実施			評価	【総括と今後の方向付け】 成人実行委員に事前作業等も積極的に参加してもらったほか、当日も主体的に運営に関わってもらうことができた。 例年、成人実行委員とはとても良い関係を築けているので、今後もつながりを大切にしていきたい。また、実行委員の確保に苦労しているので、前年度の実行委員に協力を依頼する等の仕組みを作ると良い。			

橋南公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	おひまち		地区費	継続	1	90	90	2,912	4月20日	地区内
	目的	地区住民を対象に、飯田の大火を忘れず、日々の生活の中でも防火の意識を高める	実施内容	・防火に関する標語の募集 追手町小学校児童を対象に防火標語を募集、 ・防火標語を読み上げながら橋南地区内を広報 追手町小学校児童、PTA、橋南連合青壮年会、まちづくり委員会防火防犯部、まちづくり委員会育成部、公民館、飯田市消防団第1分団からの参加者で地区内の広報活動を実施。				評価	【総括と今後の方向付け】 毎年、大火が発生した時期に地区内の各種団体が協力して、防火啓発活動を実施している。また、小学校を通じて防火標語も募集しており、小学生が地域の歴史について考える良い機会ともなっている。今後も継続して実施していきたい。	
その他	第11回橋南夏まつり		地区費	継続	1	1,200	1,200	2,912	7月20日	りんご並木周辺
	目的	地区住民を対象に、地域に暮らす、すべての住民が幅広く気軽に参加し、夏の一夜を楽しむ、ふれあい、交流する機会とする。併せて橋南地域の活性化の一助とする。	実施内容	7月のりんご並木歩行者天国イベントとして実施予定。公民館、自治委員会(各町自治会長)によるゲームコーナー、橋南連合青壮年会の屋台、ステージでは太鼓の演奏や子供向けの科学実験教室、盆踊り、りんご並木まちづくりネットワークによる各種販売ブース、仕掛け花火など、地域住民の交流の場とするとともに、中心市街地の活性化に向けた取り組みと連携して実施。主催はまちづくり委員会。公民館は主管。今年度は、3館合同のふるさとコンサートを同時開催した。				評価	【総括と今後の方向付け】 実行委員会形式を取り、運営が比較的スムーズに進んだ。次年度以降も、企画立案部分から自主的に進めていこうとしている。 3館合同のふるさとコンサートを同時開催し、地元中学校吹奏楽部にも参加してもらったところ、相乗効果で来場者も増えた。まちづくり委員会の役員等だけでなく、地元住民も参加しながら楽しめる「地域のお祭り」というスタンスを大切にしていきたい。	
その他	放課後子ども教室		市・地	継続	19	585	30	162	原則第1、第3水曜日	追手町小学校
	目的	放課後の子どもたちを対象に、安全・安心な活動拠点をつくとともに、異世代との活動の中で社会性、協調性をはぐくむ	実施内容	放課後の子どもの居場所づくりをおこない、あわせて、異世代との活動の中で、社会性、協調性を育むことができるさまざまな企画を行った。 ・開催日：原則第1、第3水曜日 ・開催時間：15時30分から16時30分まで ・運営体制：地域住民によるボランティアスタッフにより運営。定期的に運営委員会、スタッフ会を開催。				評価	【総括と今後の方向付け】 他の学校での教室とは異なり、登録制は取らず、毎回申込制としている。参加者は1～3年生中心であり、3年生にリーダーの役割を担ってもらおう、心がけて年間通して活動を行った。スタッフは、民生児童委員とその経験者が多い現状は変わらないが、バスケの指導者や30代のスタッフも加わり、今までにない視点での活動ができた。来年度は、若いスタッフの声も聞きながら、多くの児童が参加できる教室にしていきたい。	
その他	夏休み子ども教室		市・地	継続	9	324	36	162	追手町小夏休み期間(火木土日、お盆除)	橋南公民館ほか
	目的	夏休み中の子どもたちを対象に安全・安心な活動拠点をつくとともに、異世代との活動の中で社会性、協調性をはぐくむ	実施内容	夏休み中の子どもの居場所づくりをおこない、あわせて、異年齢の子ども達が団結、協力して取り組むことのできるさまざまな企画を行う。 ・開催日：夏休み期間の月、水、金曜日(お盆などは除く) ・開催時間：9時から11時30分まで(8月2日は15時30分から20時まで) ・スタッフ：放課後子ども教室スタッフ及びまちづくり委員会各部の委員。 毎日開始から1時間は夏休み課題学習(自主学習)の時間を設けた。8月2日は飯ごう炊さんを実施。スイカ割り、花火大会も行った。				評価	【総括と今後の方向付け】 長期休暇中の放課後子ども教室として実施し、連日多くの児童の参加が得られた。上級生が下級生の面倒を見ている姿も見受けられ、子供たちの縦のつながりができてきている。今年度は、公民館で活動している社会教育団体の方に講師をお願いし、子ども達と交流ができたので、次年度以降も継続して行っていきたい。 今年度はスタッフの負担、家庭での生活の見直しということもあり、試行的に、開催日を夏休み期間中の月、水、金曜日に減らした。来年度は家庭などに聞き取りも行いながら、開催形態の検討を行っていく。	

橋南公民館の事業報告

No.7

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	しめ縄づくり講習会		地区費	継続	1	26	26	2,912	12月7日	橋南公民館
	目的	実施内容	<p>地域の住民の方を講師に迎え、伝統的な正月行事の一つであるしめ縄づくりを行う。参加対象を幼児から高齢者までとすることで、地域の中での生活の技の伝承と、世代間交流の場とする。</p> <p>講師 林 清實 さん</p>			評価	<p>【総括と今後の方向付け】 幅広い年代の参加があり、世代間交流の面からも良い機会となった。ただ、低学年の子どもにはしめ縄作りは難しいところもあったため、募集年齢の引き上げや子供向けの正月飾りづくりの検討などが必要である。</p>			
その他	もちつき大会		地区費	継続	1	93	93	3,912	12月21日	橋南公民館
	目的	実施内容	<p>今は少なくなった臼と杵を使ってのもちつきを行う。もち米も釜とセイロを使い薪の火で蒸すことで、古くからのもちつきを体験することができる。つきあげたモチは保護者の協力も得ながら成形し、その場で食べるほか、自らの手で正月のお供えモチを作り各家庭へ持ち帰る。</p>			評価	<p>【総括と今後の方向付け】 小学生を中心に多くの参加者があり、12月の行事として定着している。親子で参加する家庭も多く、家族みんなで楽しむことのできる行事となっている。</p>			
その他	書き初め		地区費	継続	1	40	40	2,912	1月4日	橋南公民館
	目的	実施内容	<p>小学生から高齢者を対象に、正月行事である書き初めを行った。社会教育団体の書道グループの方に講師として参加してもらい、書き初めが終わった後はゲームをし、おしるこを食べて交流した。完成した書き初めは、1枚公民館に展示し、地域の人に見てもらった。</p>			評価	<p>【総括と今後の方向付け】 学校の宿題の関係もあり、参加者の多くが小学生であった。「宿題を片づける場」としてだけでなく、年中行事としての意味も考える場として行けると良い。</p>			
その他	伝統文化教室「天龍太鼓子ども教室」		地区費	継続	14	140	10	162	原則毎月第1、第3金曜日	追手町小学校講堂
	目的	実施内容	<p>中央通りに伝わる伝統芸能の「天龍太鼓」を学び、その技を継承する。練習を通じて、礼儀作法を身につけ、青少年の健全育成につなげるほか、異世代間交流の場とする。小学生を対象に参加者を募集し、毎月第1、第3金曜日に練習を実施、地域の各種行事へ参加、出演する。</p> <p>4/4 赤門開門式(雨天中止)、8/1 わんぱく相撲壮行会、11/2 橋南芸能発表会、11/16 長野県縦断駅伝競走応援演奏 講師:天龍太鼓打ち手会</p>			評価	<p>【総括と今後の方向付け】 今年度も、各種行事に積極的に参加し、発表をしてきた。今年度は新入部員が4名加入したが、まだまだ部員は少なく、存続が危ぶまれる。来年3月にはお練りまつりが控えており、おまつりへの参加なども検討していく。また、引き続き、募集方法、運営など公民館だけでなく、打ち手会、まちづくり委員会含めて考えていく必要がある。</p>			
その他	伝統文化教室「松一獅子舞教室」		地区費	継続	15	105	7	162	原則第2金曜日	橋南公民館
	目的	実施内容	<p>松尾町1丁目に伝わる伝統芸能の「松一獅子舞」を復活させ、後世に伝えていくため、地元自治会と協力しながら、獅子舞を学び、技を継承していく。小学生から一般を対象に参加者を募集し、毎月第2金曜日に練習を実施、地域の各種行事へ参加、出演する。</p> <p>4/4 赤門開門式(雨天中止)、7/27 橋南夏まつり(雨天中止)、9/28 追手町小運動会アトラクション、11/2 橋南芸能発表会、11/16 県青少年健全育成会議</p>			評価	<p>【総括と今後の方向付け】 今年度も、各種行事に積極的に参加し、発表をしてきた。今年度、新入部員も加入し、活発に練習、発表を行うことができた。来年3月にはお練りまつりが控えており、運営体制とうについて、公民館だけでなく、まちづくり委員会含めて考えていく必要がある。</p>			

羽場公民館の事業報告

No.1

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	0-1歳児学級		市・地	継続	19	190	29	80	5/14～3/11	羽場公民館
	目的	0-1歳児とその親を対象に発達檀家に応じた遊びや学び、悩みに対する助言ができるよう図る	実施内容	5/14開講式～お友だちになろう・羽場図書館の紹介～ 5/28手型足型をとろう 6/11年齢ごとの食事について 6/25七夕祭り 7/2〈合同〉子育て講演会「子どものしつけについて」【講師：福岡先生】 7/23おしゃべりティータイム 8/27チャイルドビジョンを作ろう 9/10ミニミニ運動会～何ができるかな！～ 9/24「病気のことを聞いてみましょう」【講師：健和会病院小児科 和田先生】 10/8お散歩に出かけましょう 10/29「子どもの歯 大人の歯」【講師：歯科衛生士】 11/12〈合同〉親子あそび 11/26クリスマス会準備 12/10クリスマス会・フィガロクリスマスコンサート(羽場地区0歳～3歳児合同) 12/24アロマキャンドルを作りましょう 1/14おしゃべりティータイム 1/28おやつのこと【講師：栄養士】 2/25手形足型をとろう ふれあい遊び 3/11閉講式 記念カード作り 【常任講師：松村由美子氏】						
										【総括と今後の方向付け】 保健師・保育士と内容を組み立て、幼児の発達段階に合わせからだを使った遊びや保護者の悩みを解決できる講座・学習の実施など、保護者の不安解消の場になっている。また、保護者同士の交流の場として有効に機能している。次年度も継続実施していく。
学級・講座	2歳児学級		市・地	継続	21	210	31	70	5/21～3/4	羽場・丸山公民館
	目的	2歳児とその親を対象に発達檀家に応じた遊びや学び、悩みに対する助言ができるよう図る	実施内容	5/21開講式(羽場・丸山2歳3歳児合同)～お友達になりましょう～ 6/4落花生とプチトマトを植えよう 6/18おやつ作り 食事のお話 7/2〈合同〉子育て講演会「子どものしつけについて」【講師：福岡先生】 7/16水遊びをしましょう(風越山麓公園噴水) 8/20小麦粉粘土で遊ぼう 9/3龍江今田平でぶどう狩りをしましょう 9/17子育て学習会「こどもの病気」【講師：健和会病院小児科 和田先生】 10/1〈2・3歳合同〉からだを使った遊び 10/15親子遊び 11/12〈合同〉からだを使った遊び 11/19歯科衛生士さんに歯のことをきいてみましょう【講師：歯科衛生士】 12/3クリスマス会準備 マラカス作り 12/10羽場地区クリスマス会・フィガロクリスマスコンサート(羽場地区0～3歳児合同) 12/17丸山地区クリスマス会・フィガロクリスマスコンサート(丸山地区0～3歳合同) 1/21お正月遊び～コマとぐるぐるタコを作ろう～ 2/4節分 豆まきをしよう 2/18手型足型記念色紙を作ろう 3/4閉講式カレーパーティー(羽場・丸山2歳3歳児合同) 【常任講師：丸井章子氏】						
										【総括と今後の方向付け】 昨年度同様、羽場・丸山地区の参加者の減少傾向により、両地区合同で開催し、羽場公民館が担当した。当初は予想以上の参加希望者が集り、講師の目が行き届かない場面もあったが、内容によっては非常に参加の少ない回もあった。落花生植え、収穫など自然と触れ合う内容を組み込むことができた。また、丸山との合同開催により、保護者は広い地域での交流を持つことができた。ただし、参加者によっては「少人数の方が参加しやすい」という意見もあり、丸山公民館と協議しながら、次年度の実施体制を決定していく。
学級・講座	3歳児学級		市・地	継続	20	160	15	80	5/22～3/4	羽場・丸山公民館
	目的	3歳児とその親を対象に発達段階に応じた遊びや学び、悩みに対する助言ができるよう図る	実施内容	5/22開講式、5/28スイカを植えよう、6/4公民館を探検しよう、6/26歯科衛生士、7/2子育て講演会、7/16新聞紙で遊ぼう、7/30スイカの収穫、8/4水遊び、8/28絵本と友達、9/17健和会和田先生、9/26ぶどう狩り、10/1親子体操、10/23文化祭に向けて、11/12お外でお散歩、11/27クリスマス準備、12/3羽場クリスマス会、12/17丸山クリスマス会、1/22大きな布で遊ぼう、1/29丸山保育園園長、2/3まめまき、2/27オリジナルキーホルダー、3/4カレーパーティー 【常任講師：酒井美幸氏】						
										【総括と今後の方向付け】 今年度も丸山地区と合同開催。3歳児を丸山公民館が担当。年度後半には母親同士の活発なコミュニケーションが目をつけた。来年度も引き続き、いろいろな方面に繋がる学びの要素や母親同士の交流をより意識した内容としたい。

羽場公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	イクメン講座		市・地	新規	1	22	22	60	1月24日	羽場公民館
	目的	子育て世代の父親を対象に子どもとの関わり方や遊びを学ぶとともに父親通しの交流を図る	実施内容	公民館・保健師・保育士のそれぞれの立場で意見を出し、企画した。父親だけでは参加しにくいと考え、父親と子どもは大会議室、母親は講義室で別の内容にし、家族全員で参加できるよう工夫をした。また、母親には子どもと離れた時間を提供し、「父親から時間をプレゼントする」というニュアンスでチラシに掲載した。9組の申込みがあり、当日は7組が参加。次年度の連続講座につなげるため、アンケートを実施し参加の意思、やってみたい内容を確認した。 パパ講座「からだを使ったダイナミックな遊び・読み聞かせに挑戦」 【講師：松村由美子氏】 ママ講座「アロマ保湿クリームを作ってみよう・おしゃべりカフェ」 【担当：福沢保健師 講師：上河内陽子氏(正永町2)】				評価	数量的成果 (項目名と数値) この講座は有意義でありましたか。 はい14 いいえ0 【総括と今後の方向付け】 参加者のアンケートでは全員が有意義と回答しており、また全員が次年度の参加意思があった。内容が充実していたと感じる。初めて会う父親同士の交流が持てた。 次年度は4回の連続講座とするが1回目は公民館・保健師・保育士が企画し、2回目以降は参加者の中から参画していただける方を探す。内容の中には地区内に出て地域の魅力が感じられる内容を盛り込む。	
学級・講座	人権講座「大人が学ぶセーフネット講座」		市費	継続	1	21	21	5,116	1月21日	羽場公民館
	目的	地区住民を対象に人権を考える機会とする	実施内容	長野県政出前講座を活用し、子どもを取り巻くインターネット利用に係る危険性の話を「大人が学ぶセーフネット講座」として実施した。 併せて、飯田西中学校いじめ解消委員会の活動発表を実施した。 【講師：南澤信之氏(一般社団法人セーフティネット総合研究所専務理事)】				評価	数量的成果 (項目名と数値) このような講座を実施することについてどう思いますか。 とても必要だと思う13 あまり必要と思わない0 わからない0 【総括と今後の方向付け】 羽場地区の民生児童委員、保護司会、まちづくり委員会役員が参加してくれた。子どもの安全を地域全体で守るためにも、地域全体に広げていく必要性を感じた。PTAやまちづくり委員会の各部会、各委員会と連携をとり、今後も継続していきたい。	
学級・講座	曙の里講座「お正月のお花を生けましょう」		市・地	継続	1	26	26	5,116	12月28日	羽場公民館
	目的	地区住民を対象に、交流する機会を設けることにより、新たな人とのつながりや文化の継承を図る	実施内容	講師に社会教育関係団体である「花のわ」のみなさんをお願いし、子どもの部1回 大人の部1回を実施。子どもの部では、自分で折り紙や和紙を切り張りし花器を作成した。大人の部には、高い所に飾るものと低い所に飾るものの2種類の生け花を用意し参加者が選んだものを生けた。リピーターも多く参加者には好評である。 【講師：花のわ】				評価	【総括と今後の方向付け】 リピーターも多く、正月を彩る生け花を作る文化として好評である。また、社教団体の活躍の場ともなっている。今後も継続していく。	
学級・講座	曙の里講座「書初め大会」		市・地	継続	1	19	19	5,116	1月4日	羽場公民館
	目的	地区民を対象に、交流する機会を設けることにより新たな人とのつながりや文化の継承を図る	実施内容	館長が講師をおこなった。参加者は、主に小学生だったが、中学生も1人参加があり、子どもと一緒に来た保護者も書初めをした。書いた中でいいもの1枚を持ち帰り、1枚は公民館へ展示した。 会場の関係で畳の和室でおこなったが、ブルーシートを引き実施した。 【講師：吉澤之榮公民館長(羽場町2)】				評価	【総括と今後の方向付け】 毎年の恒例事業となっている。参加者にとっては集中した空間で書初めができる良い場となった。大人も積極的に参加できるように工夫したい。	

羽場公民館の事業報告

No.3

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	ノルディックウォーキング講習会		市費	継続	1	25	25	5,116	10月12日	羽場地区内
	目的	地区住民を対象とした適度な運動の講座を開催し健康増進を図る	実施内容	保健師と内容を検討し実施した。羽場セントラルパークで基本の歩き方、ノルディックポールの使い方の講習を受けた後、松川切石大橋を往復するコースで実施。 【講師：酒井浩文氏(豊丘村)】			評価	【総括と今後の方向付け】 ノルディックウォーキングを初めて経験する方が多く、新たなスポーツに接するきっかけとなった。次年度はスポーツ推進委員と内容を詰め実施する。		
学級・講座	曙の里講座「年越しそば打ち体験」		市・地	新規	1	35	35	5,116	12月27日	羽場公民館
	目的	地区民を対象に、交流する機会を設けることにより新たな人とのつながりや文化の継承を図る	実施内容	地区住民から実施希望の声があり計画した。地元の方を講師にお招きし、そば打ち体験を実施。飯田産のそば粉を使った。 【講師：鈴木博氏(正永町2)】			評価	【総括と今後の方向付け】 地区内では目新しい事業に、初めて公民館事業に参加する顔も見られた。また、定員いっぱいになるほど反響の大きい事業であったため、次年度も継続して実施するとともに、H28に向けて遊休農地での栽培なども検討する。		
文化事業	飯田人形劇フェスタ羽場地区公演		市・地	継続	1	678	678	5,116	8月8日・9日・10日	羽場公民館・飯田病院
	目的	市民を対象に、人形劇のすばらしさを体験してもらい、演じる側、支える側としても楽しめるフェスタとする	実施内容	文化委員会が中心となり、羽場公民館での2公演、飯田病院での1公演を実施した。一般のボランティアに加え、中学生、短大生のボランティアが実行委員会に加わり、支える側のスタッフとして積極的に参加してくれた。羽場公民館公演では地元中学生人形劇部とアマチュア劇団、実行委員の交流会を実施した。			評価	数量的成果 (項目名と数値) 満足度 満足241 ふつう40 物足りない11 【総括と今後の方向付け】 身近な会場で人形劇に触れる良い機会となっている。今後も継続して公民館委員が主体となり実施していきたい。 飯田西中学校人形劇部の部員が減少傾向にあり、現在2名である。人形劇部OBの活用など、地域での協力を検討していく。		
文化事業	羽場地区文化祭		地区費	継続	1	1,300	1,300	5,116	11月1日・2日	羽場公民館・中央公会堂
	目的	地域住民を対象に文化、芸術を通し、多様な人と触れ合うことを目指す。	実施内容	意見発表会、展示、抹茶、煎茶、生け花体験、竹細工講座、芸能発表、駅伝大会、出店など多岐にわたるイベント開催。ポップコーン、綿菓子の無料コーナーや遊びの広場は、公民館委員と連合青壮年会とが協力して運営し、出店は連合青壮年会が運営した。今年度は、地元の講師による生け花体験と竹細工講座を実施した。			評価	【総括と今後の方向付け】 羽場公民館で活動するサークルの活動発表の場とともに、地区住民が多様な文化に触れる機会となっている。普段、公民館に来ない方も足を運ぶ機会としての役割を果たしており、次年度も継続して実施していく。		
文化事業	羽場ふれあいウォークラリー大会		地区費	新規	1	44	44	5,116	7月6日	羽場・丸山地区
	目的	地区住民を対象にウォークラリーをとおして地区の文化、魅力を再発見し誇り意識の醸成を図る	実施内容	文化委員会・育成委員会が中心となり企画。運営は公民館委員全体でおこなった。また飯田西中学校3学年の代議員が有志として企画から運営まで参加してくれた。羽場・丸山地区の避難所を巡る設定されたコースを、コマ地区のみで規定タイムに近いようにゴールする。途中の羽場セントラルパークではペタンクを行ない、ゴール後の大会議室では囲碁ボールを行った。			評価	【総括と今後の方向付け】 羽場の作文コンクールの入賞作品の内容を実現させた。企画会議では新規事業として目的の設定から競技をした。参加者はもちろん、企画運営する公民館委員が地区内を見つめ、再発見する機会となった。今回は「防災」をテーマに地区内の避難所や防災倉庫を見て回ることで、参加者の防災意識も高まった。次年度もテーマ・コース設定を検討し、継続していく。		

羽場公民館の事業報告

No.4

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	夜の講座「野菜を使ったヘルシーなおつまみ」		市・地	継続	1	20	20	5,116	2月27日	羽場公民館
	目的	料理教室を通して地区住民の交流を図る	実施内容	野菜ソムリエコミュニティ南信州の殿倉先生を講師に「お酒に合う、野菜を使ったヘルシーなおつまみ」をテーマに実習を行い、交流会を実施した。 【講師：殿倉由起子氏(野菜ソムリエコミュニティ南信州)】			評価	【総括と今後の方向付け】 文化委員が意見を出し合い、内容を決定している。今回は地区住民の健康を視点に盛り込んだ内容となった。次年度も文化委員を中心として内容を検討し、継続実施する。		
体育事業	ワンバウンドふらば～るバレー大会		地区費	継続	1	100	100	5,116	5月25日	丸山小学校体育館
	目的	地区樹民を対象に、誰でも気軽に楽しめるニュースポーツを通して健康増進と交流を図る	実施内容	12チームが参加し、ニュースポーツであるワンバウンドふらば～るバレー大会を実施。決勝トーナメント、コンソレトーナメントも開催。			評価	【総括と今後の方向付け】 今年度は旧市5地区の公民館へ参加を呼び掛け、オープン参加として橋南地区、丸山地区にも参加していただいた。ワンバウンドふらば～るバレーを通して、健康増進を図るとともに、地区内での交流と地区を越えた交流ができた。今後も誰もが楽しめるニュースポーツ大会として継続して実施する。		
体育事業	ふれあいスポーツ祭		地区費	継続	1	1,200	1,200	5,116	10月19日	飯田西中学校校庭
	目的	地区住民が一堂に集い、健康的に交流することを図る	実施内容	実行委員組織を立ち上げ、スポーツ祭を実施。半日という短い時間であったが多くの地区住民が参加して実施できた。町内対抗リレーの内容を町内間の差が出にくいように、アトラクションを少し加え、調整した。中学生が実行委員として種目の検討から関わり、当日の運営でも会場アナウンス、種目準備、商品係と活躍する場面が多かった。			評価	【総括と今後の方向付け】 今年度も半日開催で実施した。地区住民の触れ合いの場、交流の場となっている。企画の段階でも目的を再確認し、会議をしていく。次回は15回の記念大会であり、時間、内容を実行委員会で検討していく。		
体育事業	ソフトバレーボール大会		地区費	継続	1	110	110	5,116	2月1日	丸山小学校体育館
	目的	地区民を対象に、軽度なスポーツを通して交流を図り、運動することにより健康増進を図る	実施内容	地区や有志のチームによるソフトバレーボール大会。審判を社会教育関係団体である羽場のチームに依頼。男性はアタック禁止や常時女性や50歳以上の人が出場していないといけななどを競技方法に入れている。より多くの方が楽しめるルールとして実施。			評価	【総括と今後の方向付け】 男性がアタックできないルールについては賛否両論あるが、多くの方が楽しめるルールとしているため参加する人も多い。応援に駆けつける高齢者や小学生もおり住民の交流の場ともなっている。今後も継続した事業とする。		
広報事業	広報あけぼの		地区費	継続	6					
	目的	羽場の人々の紹介や事業報告、呼びかけをして、地区に対して興味を持ってもらう。また、課題を掲載することで地区の課題解決に向けた意識の高揚を図る	実施内容	年6回発行。発行一回について、会議4回実施した。			評価	【総括と今後の方向付け】 広報委員会は住民に興味を持ってもらえる紙面づくりを進め、情報発信をしている。 まちづくり委員会の広報担当者やまちづくり委員会としての考え方を紙面に取り上げるため、まちづくり委員会の広報担当者を3つのグループに分け、企画・編集・校正の会議にも出席していただいた。次年度も広報委員を中心に地域課題を取り上げた、住民の興味を引く記事づくりをおこなっていく。		

羽場公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	魚のつかみ取り		地区費	継続	1	250	250	5,116	7月20日	円悟沢川
	目的	中学生以下の子供を対象に、自然に触れ合い命の大切さや自然への『関心を持ってもらうきっかけとする	実施内容	円悟沢を区間を仕切り、高学年、低学年、幼児エリアに分けつかみ取りを実施。にじます400匹 アマゴ100匹 計500匹でつかみ取りをおこなった。一人でたくさんとる子どももいれば、取れない子どももいたため、5匹以上はとらないように指導した。参加者が増加傾向にあるため、開会式および閉会式時、会場までの往復の際の通行に注意した。地域内の河川に安心安全に触れ合うことができた。			評価	【総括と今後の方向付け】 参加者数が増加傾向にある。自然に近い状況を作り、多くの子どもたちに地区の川でのつかみ取りを経験させることができた。今後は自然体験とともに、川を保全することの大切さを教えることにも取り組んでいく。		
育成事業	田んぼ活動		地区費	継続	3	400	140	5,116	5月18日・9月28日・1月12日	育成子ども田んぼ
	目的	子どもに田植えから稲狩り、脱穀を体験してもらい、食料の大切さを学び、自然を考える機会とする	実施内容	横田延之氏の田んぼをお借りし実施した。講師も横田氏に依頼した。5/17田植え準備 5/18田植え 9/28稲刈り 10/12脱穀 1/12餅つき			評価	【総括と今後の方向付け】 子どもたちには農作業を体験する機会となっている。地主さんの好意により実現しているが、草取りなど負担をかけているように思うため対策が必要。地区内の自然環境にも目を向けることができるように検討してく。		
育成事業	きのこ狩りと芋煮会		地区費	継続	1	52	52	5,116	10月26日	曙友会所有林・妙琴公園
	目的	親子を対象に自然環境に触れ、考えるきっかけとする	実施内容	羽場曙友会の協力で実施。妙琴公園に集合し、風越山麓へ移動して羽場曙友会所有林にてきのこ狩りを実施した。その後、妙琴公園に戻り飯ごうすいさんと芋煮を作り公園内で食べた。			評価	【総括と今後の方向付け】 参加者は減少したものの、なかなか体験できない飯盒炊爨や、きのこ狩りを親子で経験していただいた。環境の変化に気づける取り組みを組み込み、環境問題について考える時間を作りたい。		
合同事業	丸山・羽場地区成人式		市・地	継続	1	100	100	150	1月11日	丸山公民館
	目的	新成人を対象に地域に誇りと愛着を持ち、将来における自己のあり方を見つめていただくことを目的に実施する。	実施内容	羽場地区・丸山地区合同で各種団体の代表により実行委員会を組織し、開催。今年度は丸山公民館長が実行委員長として実施した。新成人からも実行委員を募り12名が企画から当日の運営、思い出のアルバム(スライドショー)の作成、祝賀会司会など主体的に関わった。地区独自記念誌の発行、記念品、獅子舞の祝舞、和太鼓の祝宴など、地域の資源を活かした式典、祝賀会を実施した。また、新成人を対象にしたキャリア教育の後追いアンケートを実施し、公民館、中学校、小学校の3者で分析をした。			評価	【総括と今後の方向付け】 多くの新成人実行委員が集まり、主体的に取り組めたことは良かった。実行委員会全体で成人式の目的を確認しないと、ただの宴会になってしまうので、実行委員会の場で目的を共有し、ねらいを持った成人式、祝賀会として企画したい。参加者が減少傾向にあり、対策として新成人実行委員による手書きの案内を招待状に記載した。また、新成人実行委員の募集時期を早めたが新成人実行委員が集まらず、例年通りのスケジュールとなった。次年度は羽場公民館を会場として実施する。		
合同事業	かざこしふれあいコンサート		市・地	継続	1	中止			10月5日	丸山小学校体育館
	目的	市民を対象に、地元で活躍されている音楽家による生の演奏を楽しむ機会を提供し、芸術文化の向上を図る	実施内容	荒天により中止した。 丸山公民館との文化委員が中心となり、合同で企画。 【出演予定楽団：丸山小学校金管バンド、飯田西中学校吹奏楽部、ソノール・クラリネットアンサンブル、バリチューアンサンブル+α入道雲】 【内容】 各楽団の演奏、小中学校・楽団とのコラボ演奏、全員合唱			評価	【総括と今後の方向付け】 荒天により中止となってしまったが、地域と小中学校が協力して組み立てる事業であり、小中学生の合同演奏等、飯田市小中連携・一貫教育の一つのあり方だと感じる。 次年度も継続して実施する。		

羽場公民館の事業報告

No.6

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	飯田西中学校春の探鳥会		市費	継続	3	300	100	300	5月12日・14日・16日	風越山麓周辺
	目的	中学生を対象に、探鳥会を通して風越山麓の自然に触れることにより、環境意識の高揚を図る	実施内容	飯田西中学校愛鳥委員会を中心とした探鳥会。講師を招き、早朝の時間に飯田西市中学校から風越山の石灯籠まで歩きながら野鳥を探索した。			評価	【総括と今後の方向付け】 3年間連続して、早朝の時間に自然観察をし野鳥の探索を行うことで青少年の健全育成の一助とするとともに、自然環境の変化を体感することができる。飯田西中学校の伝統ある事業として、今後も協力していく。		
合同事業	家庭教育講演会		市費	継続	1	166	166	450	11月21日	丸山小学校
	目的	小中学生を持つ家庭を対象に、家庭教育の充実を図る	実施内容	丸山小学校関係3公民館及びPTAの共催事業として、参観日に併せて実施した。 テーマ:「本は心の玉手箱」 【講師:下沢洋子氏(ガンバの会-子どもと本を結ぶ- 主宰)】			評価	【総括と今後の方向付け】 本の読み聞かせを通して他者との関わりや、家庭内の関わり方を講演していただいた。参加された児童と保護者にとって興味深い内容だったと思う。 3者による打ち合わせが不十分であり、PTA以外の地区住民の参加が無かった。目的の確認などを議論する場が必要である。		
合同事業	冬の探鳥会		市費	継続	1	110	110	5,116	12月13日	風越子どもの森公園
	目的	地区住民、小学生、中学生を対象に、探鳥会を通じて風越山麓の自然に触れ、環境への関心の高揚を図る	実施内容	風越子どもの森公園を会場に探鳥会として散策した。講師は下伊那郡内の先生を西中が手配した。小学生、一般の参加も若干あった。			評価	【総括と今後の方向性】 飯田西中学校の伝統行事となっており、中学生の参加が多かった。事前に公民館で野鳥の学習をする、探鳥会の歴史を振り返るなどの取り組みを検討し、地区住民が積極的に参加できるようにしたい。		
合同事業	丸山小学校放課後子ども教室(青空スクール)		他会計	継続	41	2,000	52	604	年間通じて	丸山小学校
	目的	地域のボランティアスタッフの見守りと指導により、子どもたちの放課後の安全な居場所を作る。	実施内容	丸山小学校区の羽場・丸山・東野と合同で実施。地域ボランティアスタッフの見守りと指導によって、子どもたちの放課後の安全な居場所を確保した。 活動日:毎月第1・2・3水曜日 学期に1回、土曜日または日曜日にお楽しみ会、活動発表会を行う。 スタッフ会、運営委員会の開催。			評価	【総括と今後の方向付け】 ボランティアスタッフの協力で毎週実施することができ、子どもの安全な居場所を提供できた。子どもとともにスタッフも一緒に楽しめている。各地区代表のコーディネーターの負担が大きくならないように書類の削減などの対策が必要である。今後もスタッフを確保し理解を得て実施する。		
その他	図書館お楽しみ会		市費	継続	1	62	62	5,116	12月6日	羽場公民館
	目的	地区住民を対象に、図書館の利用促進を図るとともに、参加者同士の交流の場とする	実施内容	クリスマス会としてギターコンサートを実施した。新規利用者獲得のための集客効果もあり、日頃見ない子どもも来場していた。分館職員による読み聞かせ、サンタによるプレゼントを子どもに配った。 【講師:清水智氏(千栄)】			評価	【総括と今後の方向付け】 羽場分館のPRになる良い事業である。分館にとって大きなイベントであり、来場者数も多い。図書館職員も知恵を絞り工夫した内容となっている。引き続き支援する。		

丸山公民館の事業報告

No.1

区分	事業名			予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級「すくすく」(0・1歳児学級)			市費	継続	19	160	13	26	5月15日～3月5日	丸山公民館
	目的	0・1歳児とその親を対象にした交流の場、育児学習を図る。	実施内容	5/15開講式、5/29赤ちゃん体操、6/5離乳食、6/19工作で七夕まつり、7/2子育て講演会、7/17おっぱいの話、8/2おしゃべりティータイム、9/3健和会和田先生、9/19運動会ごっこ、10/16公民館の周りを散歩、10/31文化祭に向けて、11/12おしゃべりティータイム、11/20歯科衛生士、12/4クリスマスの準備、12/17丸山クリスマス会、1/15おしゃべりティータイム、2/5おやつについて栄養士に聞く、2/19チャイルドビジョンを知ろう！3/5閉講式思い出カード作り 常任講師：松村由美子氏							
	評価	【総括と今後の方向付け】 子どもの発達や母親の子育ての悩み、母親同士のつながりなどを意識した内容となっている。母親の悩みに講師が答えるだけでなく、他の母親がどうしているかをお互いに話し合いながら進めることで子育ての不安や悩みの解消の場となり母親同士の良い交流の場となっている。									
学級・講座	乳幼児学級「のびのび」(2歳児学級)			市費	継続	18	220	27	73	5月21日～3月4日	羽場・丸山公民館
	目的	2歳児とその親を対象に遊びと交流の場、育児学習を図る。	実施内容	5/21開講式、6/4プチトマトを植えよう、6/18おやつ作り・食事のお話、7/2子育て講演会、7/16水遊び、8/20小麦粉粘土で遊ぼう、9/3ぶどう狩り、9/17健和会和田先生、10/1体を使って遊ぼう、10/15親子遊び、11/12大きな布で遊ぼう、11/19歯科衛生士、12/3クリスマス会の準備、12/10羽場クリスマス会、12/17丸山クリスマス会、1/21お正月遊び、2/4節分豆まき、2/18手形足形記念色紙、3/4閉講式 常任講師：丸井章子氏							
	評価	【総括と今後の方向付け】 羽場地区、丸山地区の参加者の減少傾向により、両地区合同で開催した。当初は予想以上の参加希望者が集り、講師の目が行き届かない場面もあったが、内容によっては非常に参加の少ない回もあった。落花生植え、収穫など自然と触れ合う内容、また年齢にあった講座内容とすることができた。また、丸山との合同開催により、保護者は広い地域での交流を持つことができた。ただし、参加者によっては「少人数の方が参加しやすい」という意見もあり、丸山公民館と協議しながら、次年									
学級・講座	乳幼児学級「3歳児学級」			市費	継続	20	160	18	80	5月22日～3月4日	丸山・羽場公民館
	目的	3歳児とその親を対象に遊びと交流の場、育児学習を図る。	実施内容	5/22開講式、5/28スイカを植えよう、6/4公民館を探検しよう、6/26歯科衛生士、7/2子育て講演会、7/16新聞紙で遊ぼう、7/30スイカの収穫、8/4水遊び、8/28絵本と友達、9/17健和会和田先生、9/26ぶどう狩り、10/1親子体操、10/23文化祭に向けて、11/12お外でお散歩、11/27クリスマス準備、12/3羽場クリスマス会、12/17丸山クリスマス会、1/22大きな布で遊ぼう、1/29丸山保育園園長、2/3まめまき、2/27オリジナルキーホルダー、3/4カレーパーティー 常任講師：酒井美幸氏							
	評価	【総括と今後の方向付け】 羽場地区と合同開催。スイカの栽培等、自然体験や食育などの要素も取り入れた。健和会病院の和田先生、歯科衛生士、丸山保育園園長先生などに話を聞いた。様々な面での学びの要素を取り入れた。年度後半になると、母親同士の活発なコミュニケーションが目をつけた。来年度も引き続き、いろいろな方面に繋がる学びの要素や母親同士の交流をより意識した内容としたい。									
学級・講座	家庭教育講演会			市費	継続	1	100	100	3,710	11月21日	丸山小学校
	目的	地区住民・PTAを対象に、子育てに関するテーマで講演会を行い家庭教育の推進を図る	実施内容	11/21羽場・東野公民館と共催。 テーマ：「本は心の玉手箱」 講師：下沢洋子氏 親子がふれあう機会がなく、また方法が分からない人向けに、「本とのふれあい方」や「本を使ってできる親子にできる読み聞かせ」について、実演を交えてお話していただいた。							
	評価	【総括と今後の方向付け】 今年度は、学校・PTA・公民館で企画段階から会議を持ち、講師等を決定した。今後も、学校教育・家庭教育側だけでなく、社会教育側の観点も取り入れながら、事業展開を行いたい。									
学級・講座	子育て講演会			地区費	継続	1	70	70	3,710	7月2日	羽場公民館
	目的	子育て世代や子育てに関心のある方を対象に、しつけなど普段感じている悩みの解消を図る	実施内容	羽場公民館の乳幼児学級と合同で開催。丸山まちづくり委員会健康福祉委員会共催。子育て中の親を中心に子育てに関する悩みのヒントとしてもらうため開催。親子でゆっくり聞けるようにした。 講師：福岡恵子氏 テーマ「子どものしつけについて」							
	評価	【総括と今後の方向付け】 参加者に大好評で、「事例を多く話してくれたので分かりやすかった」「話を聞いて楽になりました」「また子育て頑張ろうと思いました」「改めて子どもとの関わり方を見直すことができました」などの感想が寄せられた。今後も、今年度と同様、子育て世代が抱える悩みの解消の一助となるような講座内容で今後も継続した事業としたい。健康福祉委員会が共催していることから、祖父母世代の参加ももっと期待したい。									

丸山公民館の事業報告

No.2

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	「子どものゲーム機について」講演会		他会計	新規	1	20	20	PTA	12月6日	丸山公民館
	目的	実施内容	12月6日 丸山公民館大会議室にて開催。 テーマ:「子どものネット利用の現状と課題」 講師:南澤信之さん(一般社団法人 セーフティネット総合研究所 専務理事) 「ゲーム機に潜む危険」とは何か? 昨今取り沙汰される「ネットトラブル」とは何か? そして、いじめやトラブルに発展していくプロセスを、第一線でトラブル解決にあたっている、南澤さんを迎えて、実態を踏まえたお話をお聞きました。		評価	【総括と今後の方向付け】 今年度は参加者が少なかった。来年度もし行うようになれば、参加者が増えるように、小中学校と相談しながら組み立てを考えていきたい。				
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	春の探鳥会		市費	継続	3	300	100	3,710	5月12日・14日・16日	風越山
	目的	実施内容	羽場公民館との共催事業(1回参加人数100 延べ参加数300) 西中学校の生徒を中心に地元住民も参加し、探鳥会を行った。飯田西中学校から風越山石灯笼まで歩きながら、講師から鳥の観察や自然全般に対する説明を行ってもらった。		評価	【総括と今後の方向付け】 西中学校の伝統ある事業であり、中学生が地元の山に登り、自然や野鳥に親しみを持ってもらえる機会である。毎年行っているがゆえに、今後も中学校と連携を取りながら進めていきたい。				
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	観月の夕べ		他会計	継続	1	80	80	3,710	9月7日	佐倉神社
	目的	実施内容	公民館、風越山を愛する会、かごこし子どもの森公園が共催。中秋の名月の夜に月を觀賞しながら、地元の神社でお抹茶や詩吟、女子高の邦楽部などの演奏を楽しんだ。電気をあまり使わず月明かりを使うように演出することで参加者が独特の雰囲気を出せるよう実行委員で企画した。		評価	【総括と今後の方向付け】 昨年度に続いて2回目の開催。大勢の参加があり、中秋の名月もきれいに見られたため、大好評だった。ただし、佐倉神社に机を運搬する等の人数が不足していた。参加者からは大好評だったことも踏まえ、来年度以降は実行委員会体制を見直し、しっかりと事業をしていきたい。				
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	新春書初め教室		市・地	継続	1	10	10	3,710	1月4日	丸山公民館
	目的	実施内容	地元の方を講師にお正月行事体験講座として開催。子どもたちに日本の伝統文化の良さにふれてもらうとともに、集中力や書く力を育ててもらい、大人には自分流に書いてもらうことで書道の面白さにふれてもらう機会とした。書き上げた作品を公民館に展示した。 講師:高田晴子氏(丸山町2)		評価	【総括と今後の方向付け】 小学生には冬休みの宿題の場にもなっていることから毎年小学生の参加がほとんどである。親子の参加者もあり親子ふれあいの機会にもなった。例年参加者が少なく、来年度は大人の参加も含めて多くの地域住民に参加してもらいたい。あまりに参加者が少なければ、羽場公民館との合同開催も考えたい。				
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	そばうち体験講座		市・地	継続	1	20	20	3,710	12月14日	丸山公民館
	目的	実施内容	地元の方を講師に実施。毎年楽しみにして参加するリピーターもいる。今年度は、昨年度の反省から、実施時期を「より美味しいそば粉を使用できる」12月に開催した。使う粉にもこだわり、安心・安全なそば粉を使い、口に入れるものをこだわって作ることで食育について考える機会にもなっている。 講師:久保田淳一郎氏(白山町2)		評価	【総括と今後の方向付け】 参加者からは毎年好評を得ており、食育について考える機会でもあるため、継続事業としたい。他の事業と連携してできないかどうかを考えていく必要がある。				

丸山公民館の事業報告

No.3

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	風越山と暮らしを考える講座		市費	継続	1	20	20	3,710	6月29日、7月13日、3月22日	丸山公民館
	目的	地区住民を対象に、地区のシンボル風越山を暮らしの視点から見つめなおし心豊かな地域づくりを育むことを目的とする。	実施内容	地元の資産である風越山と私たちの暮らしについて考える機会を提供する。これまで講演会や座談会を実施してきたが、今年度は(1)風越山に興味を持ってもらうきっかけづくり、(2)文化財や自然、歴史などを学びながら登山をすることで登山の面白さや魅力をより感じてもらうことを目的として、「初心者向け登山」を行った。6月は石灯笼まで登山、7月は雨天中止となったため、3月に行う「みちくさウォーキング」をまちづくりとの共催事業とした。			評価	【総括と今後の方向付け】 今年度策定の「丸山地区基本構想」では、テーマが「風越山とともに住み続けたい自然豊かなまち丸山」となっている。地区の大きなシンボルであり、様々な角度からアプローチする講座であるが、来年度は組織づけをしっかりとつくり、まちづくり委員会を含めた地域全体での活動に発展させたい。		
学級・講座	国宝への旅		市・地	継続	3	100	40	3,710	3月27日、4月3日、4月10日	丸山公民館 ほか
	目的	市民を対象に仏や先人の心に思いを寄せながら、隠れた国宝級の仏の見方やその土地の歴史・文化について学習する	実施内容	代表者による運営委員会で企画運営 テーマ～ 講師：山下守弘氏（丸山町3） 3/27 学習会①開講式・オリエンテーション、 4/3 学習会② 4/10 学習会③現地研修			評価	【総括と今後の方向付け】 28年目を迎える伝統ある講座で、地区外からも多くの参加がある人気の講座である。運営委員会、講師と一緒に、参加者により満足してもらえるよう充実した講座内容を検討していく。 参加者のほとんどがリピーターのため、「行く場所がだんだんなくなってきている」という意見もいただいているので、運営委員会を開催し、新規参加者の開拓や研修場所を今後どうしていくかを議論していく必要がある。		
文化事業	人形劇フェスタ丸山地区公演		他会計	継続	1	245	245	3,710	8月9日	丸山公民館
	目的	市民を対象に、身近なところで人形劇に親しむ機会をつくる	実施内容	公民館部員と一般ボランティア、小学校人形劇クラブの保護者による実行委員会で実施。地元小学校とプロの劇団との交流会を実施。			評価	数量的成果 (項目名と数値) 満足95人、ふつう7人、物足りない1人 【総括と今後の方向付け】 今年は地区企画公演を実施し、期間前後にフェスタの雰囲気盛り上げることができた。公演後の小学校の人形劇クラブの子どもたちとプロの劇団、実行委員の交流では、子どもたちにとってはプロの劇団と直接話ができる機会であり、プロの劇団からはこうした地域の方との交流を毎年楽しみにしているとの話もあり、ジョイント公演や交流の場は引き続き図っていききたい。来年度は地区の団体や資源などとの関わりを持たせるように、住民の意見を聞きながら企画したい。		
文化事業	かざこしふれあいコンサート		市費	継続	1	0	0	3,710	10月5日	丸山小学校
	目的	地元の優れた音楽家の演奏に地域の子もたちに触れてもらうとともに、子どもたちの成果発表の場とする。	実施内容	昨年度から開催の「ふれあいコンサート」の名称を「かざこしふれあいコンサート」として、第2回を開催しようとしたが、地元で活躍する音楽家の演奏に子どもたちに触れてもらうことで地域に愛着を持ってもらおうと実施している。小中学生の日頃の練習の成果を地域の皆さんに披露する機会にもなる。全参加団体によるコラボ演奏もあり、小中連携・一貫教育の取組みのひとつとなる。羽場地区との合同開催である。			評価	【総括と今後の方向付け】 今年度は残念ながら、当日に台風接近のため、やむなく中止となってしまったため、今年度のを骨子に、羽場地区と連携を図りながら、来年度も引き続き開催したい。来年度は吹奏楽部だけでなく、小中学校の合唱部の参加を依頼するなど、内容の充実化を図っていききたい。		

丸山公民館の事業報告

No.4

区分	事業名			予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	丸山地区文化祭			地区費	継続	1	1,262	1,262	3,710	11月15日・16日	丸山公民館
	目的	地区住民を対象に、日頃の文化活動の発表の場や地域の交流を図る	実施内容	地区内の団体や教室・サークル活動の発表の場、住民の文化交流の場として開催。文化部を中心に、まちづくり委員会や参加団体による実行委員体制で企画・運営。			評価	【総括と今後の方向付け】 多くの作品展示・芸能発表・出展があり地区住民の交流につながっている。まちづくり委員会との連携により運営の協力が得られたり、各町内の発表の場も増え地域全体で盛り上げる行事となっている。地元の小中学校の発表や展示もあり、子どもたちの活躍を知ってもらう機会にもなっている。作品の出展数が年々少なくなっており、今年度は展示会場レイアウトを見直したが、来年度はより多くの団体への呼びかけを行いたい。			
文化事業	冬の探鳥会			市費	継続	1	50	50	3,710	12月13日	かざこし子どもの森公園
	目的	地区住民を対象に、地域の自然の豊かさを感じ自然環境について考える。	実施内容	西中学校・丸山・羽場公民館の共催で開催。昨年度に引き続き、今年度は冬に開催。地区内のかざこし子どもの森公園での野鳥観察を行った。地元の野鳥に関するエキスパートを講師に呼んで、生徒との交流を図っている。生徒たちにとっては、身近にいるたくさんの種類の野鳥について知る機会となっている。			評価	【総括と今後の方向付け】 身近にある自然の豊かさを感じられる事業として重要である。西中生徒は大勢参加しているが、冬の早朝ということもあり一般参加が少ないため、より多くの参加をよびかけたい。			
文化事業	おとなのサロン			市・地	継続	1	25	25	3,710	2月21日	丸山公民館
	目的	地区住民を対象に、青壮年会とタイアップし一般成人の学習の機会とする。	実施内容	連合青壮年会と共催で企画運営。大人がひとつのことをじっくり学ぶ機会として毎年テーマを決めて開催。今年度は地元在住のATAGOシェフを講師として迎え、『男のイタリアン講座』として、男性限定で募集を行った。本格的なイタリアンを講師が教え、文化部がサポートして参加者が作り、ワイン・ビールを飲みながら交流するという事業となった。			評価	【総括と今後の方向付け】 今年度は、参加者から「講師・料理などがとても良かった」という評価をたくさんいただいた。今後も青壮年会と連携を図り、中高年層をターゲットに楽しみながら文化にふれる事業として行っていきたい。			
文化事業	丸山くらす			地区費	新規	2	50	25	3,710	6/8、2/1	丸山公民館
	目的	地域住民を対象に、自分たちの住む地域を知り学ぶための体験型の講座	実施内容	「地域で楽しく生き生きと暮らす」をコンセプトに自分たちの暮らしを衣・食・住など様々な観点から見つめなおすことで地域と人、人と人の結びつきの大切さにふれてもらい地域の良さを再発見する。昨年度から始まった2年目の事業である。年間を通じて開催する。第1回目は地元のおやき店「和楽さん」のおやき作りを行い、第2回はかざこし木楽会を講師に迎え、「風越山の廃材で作った木ろうそくで、豚汁・おしるこをつくる」という事業となった。			評価	【総括と今後の方向付け】 丸山地区を楽しく学ぶ、知ることによって地域の良さや人とのつながりについて知ってもらうため、ジャンルを問わず様々な内容で体験型の講座となっている。参加者の自主性を引き出すよう心がけている。特に2回目の木ろうそくについては、地元の大きなシンボル「風越山」について、防災の面からも学ぶよい機会となった。			
体育事業	町内対抗ソフトボール大会			地区費	継続	1	100	100	3,710	6月1日	押洞グラウンド
	目的	地区住民を対象に、町内の親睦と交流を図る	実施内容	町内対抗形式で開催。まちづくり委員会会議で各町自治会長に呼びかけた。また、地域との交流を目的に、風越寮などにも参加してもらっている。リーグ戦で開催。			評価	【総括と今後の方向付け】 地域住民同士が集い、スポーツを通して交流を図る良い機会である。参加者が減少していることから、開催方法について検討しながら次年度も継続したい。			

丸山公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ワンバウンドふらばーるパレー大会		地区費	継続	1	100	100	3,710	11月30日	丸山小学校
	目的	地区住民を対象に、ニュースポーツの普及と広い年代層での親睦と交流を図る	実施内容	パレーボールをやったことのない方、また子どもや女性も気軽に参加できるニュースポーツである。地区内だけでなく、社教団体のスポーツ関係の団体にも参加を呼びかけている。リーグ戦と決勝トーナメントで開催。			評価	【総括と今後の方向付け】 年齢や運動神経に関係なく誰でも楽しめるニュースポーツであり、人気も高い。ニュースポーツの普及のためにも今後も多くの参加者を募る工夫を行いたい。		
体育事業	丸山地区市民大運動会		地区費	継続	1	655	655	3,710	10月19日	丸山小学校
	目的	地区住民を対象に、親睦と交流を地区の結びつきや活性化を図る	実施内容	まちづくり委員会、公民館、地区内の各種団体による実行委員会体制で実施。体育部会、企画・運営委員会、実行委員会、各係会を経て開催。町内対抗競技等による地域の団結や地域住民同士の交流ができる地域の大きな事業のひとつである。			評価	【総括と今後の方向付け】 地域の一大イベントであり、多くの地区住民が参加し、コミュニティー形成の大きな力となっている事業である。今年度は今後もより内容の充実を図り多くの住民が参加できるよう工夫していきたい。		
体育事業	囲碁ボール大会		地区費	継続	1	80	80	3,710	9月28日	丸山公民館
	目的	地区住民を対象に、冬の運動不足の解消、ニュースポーツの普及と健康増進を図る	実施内容	高齢者でも気軽に行えるニュースポーツのため、多くの参加者がある。自治会やサークル、個人など20チームが参加。町内ごとに囲碁ボール大会を開催する地区も増えており、囲碁ボールへの地域で定着してきている。			評価	【総括と今後の方向付け】 地区内での人気が高く、地域住民の交流や健康づくりを目的として今後も継続実施していきたい。		
体育事業	健康講座(健康体操)		市・地	継続	1	20	20	3,676	3月12日	丸山公民館
	目的	地区住民を対象に、運動の効果と心身の健康について考える機会とする。	実施内容	今年度は、「健康体操～頭とカラダのリフレッシュ～」テーマで、簡単な動きを通した心身のリフレッシュをはかると同時に、地区の保健師による健康相談を実施した。			評価	【総括と今後の方向付け】 健康について考えることで自分の健康づくりに役立ててもらうための健康講座である。昨年度まで行っていた体力測定は一旦やめるという判断になったので、今後どうしていくかを部会で話し合っていきたい。		
広報事業	広報まるやまの編集		地区費	継続	4			3,710	6月～3月	丸山公民館
	目的	地区住民を対象に、地区内の話題を伝え地域課題を提起していく	実施内容	16号(6月)、17号(9月)、18号(2月)、19号(3月)。まちづくり委員会と合同で発行。それぞれの広報部門で内容の検討を行いながら、合同の企画会議や編集会議も開催し紙面の充実を図っている。			評価	【総括と今後の方向付け】 昨年度から始まった小中連携一貫教育が始まったことも踏まえ、地域の子どもの作文や活動の様子を掲載し、地域も子どもたちを育てることを意識した内容を連載した。今後も読みやすく親しみやすい紙面づくりを目指し、地域課題に即した内容の記事を提供していく。		
育成事業	スポーツ教室支援事業		地区費	継続	4	180	180	3,710	4月6日、2月19日、6月23日、3月8日	丸山公民館
	目的	子どもの文化・スポーツ活動の充実を目的に各教室の連携を深めながら支援していく。	実施内容	4/6開校式(指導者紹介、スポーツ教室の事業計画についてほか) 3/8開校式(各教室活動発表、修了証の授与ほか) 年2回スポーツ指導者・保護者代表打ち合わせ会の実施。 公民館行事への参加の呼びかけ。			評価	【総括と今後の方向付け】 合同で実施する開校式と閉校式は各教室の交流と活動の成果の発表の場になっている。保護者との打ち合わせ会は各教室の情報交換の場となっている。公民館の行事への参加を呼びかけることで教室の参加も得ている。特に武道系で加入数が減っており、他地区と合同の話が出ている教室もあるため今後の動向を見ながら進めたい。		

丸山公民館の事業報告

No.6

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	コーディネーショントレーニング体験会		市費	継続	1	40	40	3,710	8月1日	丸山小学校
	目的	実施内容	スポーツ教室の子どもたちと保護者、指導者を対象に体験会を実施。今年は各スポーツに共通した内容で、普段使わない運動神経と脳神経を効率的に使ってもらうことを目的にコーディネーショントレーニングを実施。 講師：小平美恵子氏（ICOT指導員、NPO法人JACOT准指導員）			評価	【総括と今後の方向付け】 昨年度に継続して行った。参加者からは各教室でのスポーツ技術向上の参考になった、指導者からはスポーツ指導にも取り入れていきたいという声が寄せられ好評だった。親子での参加が多く、親子のコミュニケーションの機会にもなっていた。			
育成事業	お正月飾り教室		市・地	継続	1	60	60	3,710	12月21日	丸山公民館
	目的	実施内容	日本のお正月の伝統文化であるしめ縄やおやすなどのお正月かざりを地元の方を講師に体験した。親子での参加を呼びかけた。 久保田浩史氏（丸山町3）			評価	【総括と今後の方向付け】 伝統文化であるお正月飾りを体験してもらうとともに、親子の参加を呼びかけることで親子のふれあいの場となっている。今後も継続した事業としたい。			
育成事業	水引体験教室		市・地	継続	1	30	30	3,710	7月27日	丸山公民館
	目的	実施内容	飯田の伝統工芸の水引細工にふれる機会とし、地元の達人を講師に招いて毎年開催。水引の歴史の学習や基本の淡路結びから教わり、ストラップやマグネットなどの小物を作った。家族や親子で水引教室に参加してもらうよう呼びかけをした。 講師：田中秀明氏（丸山町1）			評価	【総括と今後の方向付け】 地場産業や伝統文化にふれる機会となっている。小学生や大人、親子での参加も多く、また地元の水引会社があることから、地域のことを知ってもらう場にもなっており、今後も継続していきたい事業である。			
育成事業	お正月あそび・もちつき体験		市・地	継続	2	160	30・130	3,710	1月13日、1月19日	丸山公民館
	目的	実施内容	お正月の遊びやもちつきなどの伝統文化を地元の方を講師に全館を貸切って実施。飯田西中学校の生徒会を中心とした生徒が1週間前に凧作りを地域の講師から教えてもらい、当日参加した小学生や親子に教えた。 講師：風越寮職員・塩沢知治さん（滝の沢）・中島芙美子さん（滝の沢）			評価	【総括と今後の方向付け】 地域の様々な世代が交流できる機会であり、また中学校と連携して地域行事への参加が少ない中学生が運営面の協力もしてくれる事業である。日本の伝統文化にふれる機会でもあり今後も継続していきたい。			
育成事業	みちくさウォーキング		市・地	継続	1	70	70	3,710	3月22日	丸山公民館 ほか
	目的	実施内容	地元の風越山麓を一周し、途中白山社など文化財を通るコースを設定している。自然や文化財に親しんでもらうとともに、親子のふれあいやスポーツ教室の交流、ウォーキングによる健康づくりにもつなげている。体育部と文化部が共催。ゴールで豚汁サービスを行う。			評価	【総括と今後の方向付け】 開催時期を春休み中の3月とし大勢の親子が参加している。風越山登山の機会が少なくなっている小学生や中学生にとっても良い機会である。宝探しビンゴなども取り入れ楽しみながら自然にふれる機会であり、継続事業としたい。 今年度は、「風越山と暮らしを考える講座」の一環としても位置付けた。来年度以降はまちづくり委員会と協力して行っていきたい。			

丸山公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	丸山・羽場地区成人式		他会計	継続	1	100	100	150	1月11日	羽場公民館
	目的	実施内容	羽場地区と合同で実行委員会を組織し実施。「地区をあげてお祝いする成人式」という考えのもと、各種団体の代表が実行委員。式典では両地区の獅子舞や太鼓など地域の伝統文化の発表もしている。また地区独自の記念誌も作成し地域活動の紹介をした。企画段階から新成人が関わり主体的な取り組みをした。			評価	【総括と今後の方向付け】 新成人の実行委員を募集する際に、当時の中学校の生徒会長名で呼びかけたところ、多くの実行委員が集まった。地域学習の一貫でかざこし子どもの森公園で行われているピザ焼きを体験した。独自記念誌『かざこし山』で地域の活動を紹介しているが、式典や祝賀会のなかでも地域をPRできる内容としていきたい。			
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	丸山小学校かざこしタイム		他会計	継続	5	1,615	323	323	6月～10月	丸山公民館・丸山小学校他
	目的	実施内容	小学校のクラブ活動(かざこしタイム)を地域の方が講師となって指導する。小学生と地域の方との交流を深め、地域の行事に積極的に参加していく態度や郷土愛の育成につなげる。小学校から講師の希望があったクラブについて公民館が地域の人材を探す役割を行っている。			評価	【総括と今後の方向付け】 地域の方に教わりながら地域のよさを感じてもらい交流もできている。文化祭で作品展示や活動の様子を紹介ができた。地域の負担が大きくなりすぎないように、学校と事業の目的や意義について十分な打合せが必要である。			
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	風越山を愛する会事務局		他会計	継続	14	150	15	3,710	通年	丸山公民館、風越山等
	目的	実施内容	運営委員会を開催し企画運営。「風のたより」の発行(年数回)。風越山のイラストマップを販売し小学校の登山にも使用されている。年間を通して季節折々の登山や元旦登山等を行い、自然観察登山や登山道整備登山、看板整備、登山ガイドなどを行う。また風越登山マラソンや地元神社の祭典、関係イベント等への協力もしている。			評価	【総括と今後の方向付け】 飯田のシンボル「風越山」の自然・歴史・文化にふれる機会を通して、山の魅力を伝え自然保護を高める活動を展開している。運営委員会を中心に企画運営を行っている。登山の実施前実施後はホームページを通じてを情報発信している。地域内外の住民に風越山の魅力を感じてもらうための事業を検討していきたい。			
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	丸山小学校放課後子ども教室(青空スクール)		他会計	継続	33	1,000	52	604	4月～3月	丸山小学校
	目的	実施内容	放課後の児童の居場所づくりとして地域ボランティアスタッフが指導と見守りを行う。活動日:第1・2・3・4水曜日 学期に1回の土曜日または日曜日に参観日。運営委員会・スタッフ会の開催。小学校区の羽場・東野地区と合同。			評価	【総括と今後の方向付け】 異学年の児童同士の交流により自主性や協調性を高めることも目的とされている。学期に一度の土曜日は、流しそめんや活動発表等保護者の参観日もかねて実施。丸山地区文化祭へ子どもたちの作品を展示している。地域のスタッフのもと様々な体験ができています。スタッフは研修会への参加や他地区の視察などを積極的な取り組みをしている。			